【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の２第１項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2021年10月11日
【事業年度】	2020年度（自　2020年１月１日　至　2020年12月31日）
【会社名】	フランス相互信用連合銀行（ＢＦＣＭ） (Banque Fédérative du Crédit Mutuel)
【代表者の役職氏名】	最高経営責任者 (Chief Executive Officer) ダニエル・バール (Daniel Baal)
【本店の所在の場所】	フランス、ストラスブール67000、リュ・フレデリック－ギヨーム・ライフアイゼン４ (4 rue Frédéric-Guillaume Raiffeisen - 67000 Strasbourg, France)
【代理人の氏名又は名称】	弁護士　　三　原　秀　哲
【代理人の住所又は所在地】	東京都千代田区丸の内二丁目７番２号 ＪＰタワー 長島・大野・常松法律事務所
【電話番号】	03-6889-7000
【事務連絡者氏名】	弁護士　　高　橋　　優
【連絡場所】	東京都千代田区丸の内二丁目７番２号 ＪＰタワー 長島・大野・常松法律事務所
【電話番号】	03-6889-7000
【縦覧に供する場所】	該当事項なし

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

2021年６月29日提出の有価証券報告書（事業年度自2020年１月１日至2020年12月31日）の記載事項の一部を訂正するため、有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部　企業情報
　第２　企業の概況
　　１　主要な経営指標等の推移
　　３　事業の内容
　第３　事業の状況
　　２　事業等のリスク
　　３　経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析
　第５　提出会社の状況
　　１　株式等の状況
　　（５）大株主の状況
　　３　コーポレート・ガバナンスの状況等
　　（１）コーポレート・ガバナンスの概要
　　（２）役員の状況
　第６　経理の状況
　　１　財務書類

3【訂正箇所】

訂正箇所は下線で示しております。

第一部　【企業情報】

第２【企業の概況】

１【主要な経営指標等の推移】

＜訂正前＞

＜前略＞

（１）　BFCMグループ（連結ベース）

資産－IFRS

(単位： 百万ユーロ)	2020年 12月31	2019年 12月31日	2018年 12月31日	2018年 １月１日 (修正再表示後) (注1)	2017年 12月31日	2016年 12月31日

＜中略＞

負債及び株主資本－IFRS

(単位： 百万ユーロ)	2020年 12月31	2019年 12月31日	2018年 12月31日	2018年 １月１日 (修正再表示後) (注1)	2017年 12月31日	2016年 12月31日

＜中略＞

損益計算書－IFRS

(単位： 百万ユーロ)	2020年 12月31	2019年 12月31日	2018年 12月31日 (修正再表示後) (注３)	2017年 12月31日 IAS 39号	2016年 12月31日

＜中略＞

（注１）

＜中略＞

1.3.1.8　信用リスクの測定

＜中略＞

ステージ１とステージ２の境界の定義

＜中略＞

■　低デフォルト・ポートフォリオ（LDP）（格付モデルは専門家の評価に基づく）：大口口座、銀行、地方自治体、ソブリン、特定融資。これらのポートフォリオは、営業貸付金、短期営業貸付金、当座預金口座等の商品で構成される。

＜中略＞

将来予測的な側面

＜中略＞

低デフォルト・ポートフォリオについては、将来予測的な情報は、大口口座や銀行モデルに組込まれているが、地方自治体、ソブリン、特定融資モデルには組込まれていない。このアプローチは、高デフォルト・ポートフォリオに用いられるものと類似している。

＜中略＞

1.3.3.7　国が負担する一部の貸出金に係る利息

＜中略＞

（注２）

＜中略＞

2.3.1.8　信用リスクの測定

＜中略＞

ステージ１と２の境界の定義

＜中略＞

■ 低デフォルト・ポートフォリオ（LDP）（格付モデルは専門家の評価に基づく）：大口口座、銀行、地方自治体、ソブリン、特定融資。これらのポートフォリオは、営業貸付金、短期営業貸付金、当座預金口座等の商品で構成される。

＜中略＞

将来予測的な情報

＜中略＞

低デフォルト・ポートフォリオについては、将来予測的な情報は、大口口座や銀行モデルに組込まれているが、地方自治体、ソブリン、特定融資モデルには組込まれていない。このアプローチは、高デフォルト・ポートフォリオに用いられるものと類似している。

＜中略＞

2.3.3.7 国が負担する一部の貸出金に係る利息

＜後略＞

＜訂正後＞

＜前略＞

（１） BFCMグループ（連結ベース）

資産－IFRS

(単位： 百万ユーロ)	2020年 12月31日	2019年 12月31日	2018年 12月31日	2018年 １月１日 (修正再表示後) (注1)	2017年 12月31日	2016年 12月31日

＜中略＞

負債及び株主資本－IFRS

(単位： 百万ユーロ)	2020年 12月31日	2019年 12月31日	2018年 12月31日	2018年 １月１日 (修正再表示後) (注1)	2017年 12月31日	2016年 12月31日

＜中略＞

損益計算書－IFRS

(単位： 百万ユーロ)	2020年 12月31日	2019年 12月31日	2018年 12月31日 (修正再表示後) (注３)	2017年 12月31日 IAS 39号	2016年 12月31日

＜中略＞

（注１）

＜中略＞

1.3.1.8 信用リスクの測定

＜中略＞

ステージ１とステージ２の境界の定義

＜中略＞

■ 低デフォルト・ポートフォリオ（LDP）（格付モデルは専門家の評価に基づく）：大企業、銀行、地方自治体、ソブリン、特定融資。これらのポートフォリオは、営業貸付金、短期営業貸付金、当座預金口座等の商品で構成される。

＜中略＞

将来予測的な側面

＜中略＞

低デフォルト・ポートフォリオについては、将来予測的な情報は、大企業や銀行モデルに組込まれているが、地方自治体、ソブリン、特定融資モデルには組込まれていない。このアプローチは、高デフォルト・ポートフォリオに用いられるものと類似している。

＜中略＞

1.3.3.7 フランス政府が負担する一部の貸出金に係る利息

＜中略＞

（注２）

＜中略＞

2.3.1.8　信用リスクの測定

＜中略＞

ステージ１と２の境界の定義

＜中略＞

■　低デフォルト・ポートフォリオ（LDP）（格付モデルは専門家の評価に基づく）：大企業、銀行、地方自治体、ソブリン、特定融資。これらのポートフォリオは、営業貸付金、短期営業貸付金、当座預金口座等の商品で構成される。

＜中略＞

将来予測的な情報

＜中略＞

低デフォルト・ポートフォリオについては、将来予測的な情報は、大企業や銀行モデルに組込まれているが、地方自治体、ソブリン、特定融資モデルには組込まれていない。このアプローチは、高デフォルト・ポートフォリオに用いられるものと類似している。

＜中略＞

2.3.3.7　フランス政府が負担する一部の貸出金に係る利息

＜後略＞

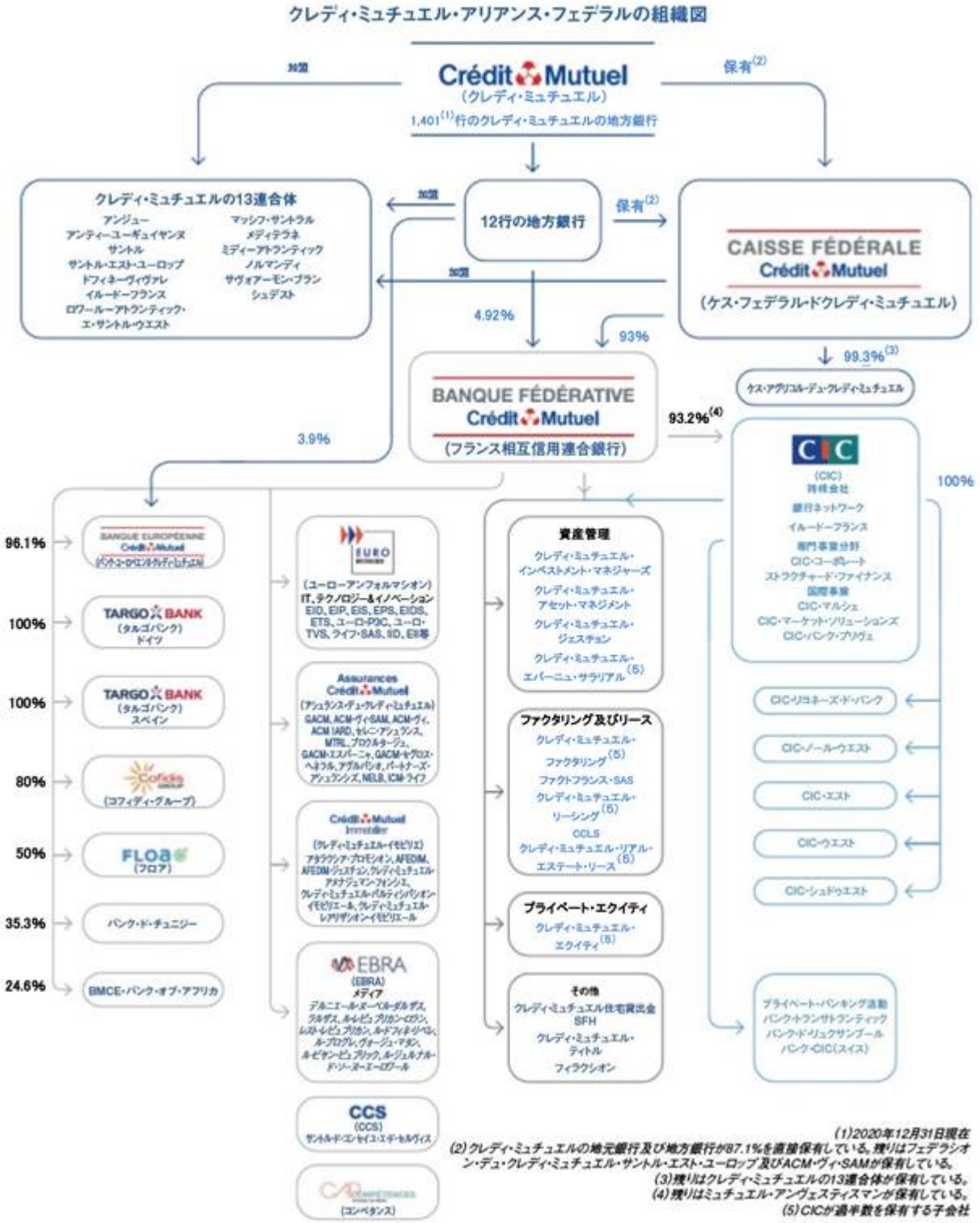
３【事業の内容】

＜訂正前＞

＜前略＞

１　クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラル及びBFCMの概要

＜中略＞



＜中略＞

3.1　グループの中心的な事業分野であるリテール・バンキング

＜中略＞

3.1.2　事業分野別子会社

3.1.2.1コフィディ・グループ

＜中略＞

活動に関して、コフィディ・グループは、2020年も引き続き消費者向け金融市場において強いプレゼンスを示すことができた。新規貸出金は2019年度と比べてわずか10%減の67億ユーロであった。2020年12月末現在の貸出金残高合計は、2019年度末と比べて1.6%増の1,523.4億ユーロとなった。コフィディ・グループは、困難な状況においても顧客にコミットし続けることで市場シェアを獲得した。コフィディの多様化モデルは、コフィディ・グループが事業を行っている９ヶ国全てにおいて、よく持ちこたえており、コフィディのビジネスモデルの強靱さが確認された。

＜中略＞

3.1.2.3　ファイナンス・リース

＜中略＞

不動産リース

クレディ・ミュチュエル・リアル・エステート・リース（Crédit Mutuel Real Estate Lease）は、フランスの不動産リース市場における主要なプレイヤーである。同社は、企業、専門家、社会経済上のプレイヤーや機関及びクレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの顧客の不動産投資ニーズに対応している。同社は、事業用不動産（商業、物流、工業用地、医療施設、事務所又はホテル）の取得や建設に適した融資を提供している。クレディ・ミュチュエル・リアル・エステート・リースは、各地域の地域の専門家の技術、法律、税務、財務及び規制に関する専門知識を活用している。その商品は、クレディ・ミュチュエルの銀行においてはクレディ・ミュチュエル・リアル・エステート・リースのブランドにて、CICの支店においてはCIC・リアル・エステート・リースのブランドにて販売されている。

＜中略＞

3.1.2.6　その他

＜中略＞

クレディ・ミュチュエル住宅貸出金SFH（Crédit Mutuel Home Loan SFH）

＜中略＞

この状況にかかわらず、クレディ・ミュチュエル住宅貸出金SFHは、１月には10年間で1,250百万ユーロ（クーポン・レートは0.125%）、４月には５年間で1,750百万ユーロ（クーポン・レートは0.125%）の２件の大規模な発行を行った。

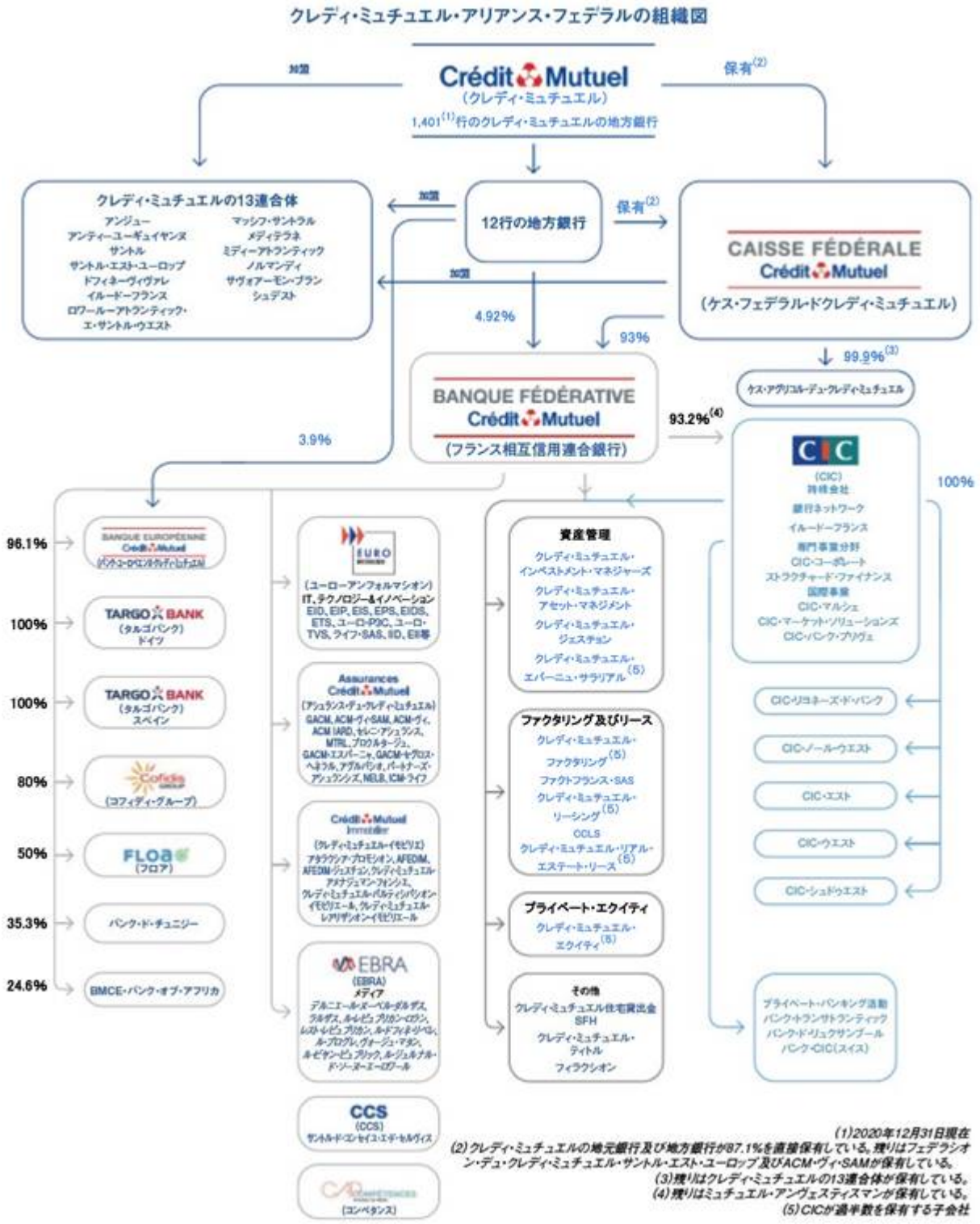
＜後略＞

＜訂正後＞

＜前略＞

１　クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラル及びBFCMの概要

＜中略＞



＜中略＞

3.1　グループの中心的な事業分野であるリテール・バンキング

＜中略＞

3.1.2　事業分野別子会社

3.1.2.1コフィディ・グループ

＜中略＞

活動に関して、コフィディ・グループは、2020年も引き続き消費者向け金融市場において強いプレゼンスを示すことができた。新規貸出金は2019年度と比べてわずか10%減の67億ユーロであった。2020年12月末現在の貸出金残高合計は、2019年度末と比べて1.6%増の15,234百万ユーロとなった。コフィディ・グループは、困難な状況においても顧客にコミットし続けることで市場シェアを獲得した。コフィディの多様化モデルは、コフィディ・グループが事業を行っている９ヶ国全てにおいて、よく持ちこたえており、コフィディのビジネスモデルの強靱さが確認された。

＜中略＞

3.1.2.3　ファイナンス・リース

＜中略＞

不動産リース

クレディ・ミュチュエル・リアル・エステート・リース（Crédit Mutuel Real Estate Lease）は、フランスの不動産リース市場における主要なプレイヤーである。同社は、企業、専門家、社会経済上のプレイヤーや機関及びクレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの顧客の不動産投資ニーズに対応している。同社は、事業用不動産（商業、物流、工業用地、医療施設、事務所又はホテル）の取得や建設に適した融資を提供している。クレディ・ミュチュエル・リアル・エステート・リースは、各地域の専門家の技術、法律、税務、財務及び規制に関する専門知識を活用している。その商品は、クレディ・ミュチュエルの銀行においてはクレディ・ミュチュエル・リアル・エステート・リースのブランドにて、CICの支店においてはCIC・リアル・エステート・リースのブランドにて販売されている。

＜中略＞

3.1.2.6　その他

＜中略＞

クレディ・ミュチュエル住宅貸出金SFH（Crédit Mutuel Home Loan SFH）

＜中略＞

この状況にかかわらず、クレディ・ミュチュエル住宅貸出金SFHは、１月には1,250百万ユーロ（クーポン・レートは0.125%）の10年満期債、４月には1,750百万ユーロ（クーポン・レートは0.125%）の５年満期債の２件の大規模な発行を行った。

＜後略＞

第３【事業の状況】

２【事業等のリスク】

＜訂正前＞

＜前略＞

１　グループの銀行業務及び保険業務に関するリスク

1.1　信用リスク

＜中略＞

b.　二つめの影響は、支払能力比率の分母における加重リスクを計算する際に使用される手法に左右される。標準的手法では、信用の質の変化が加重リスクの計算に与える影響は僅かであるため、支払能力比率に対する影響も僅かである。しかし、信用ポートフォリオの加重リスクの計算に内部モデルを用いることにつき監督当局から承認を得ている場合、影響を受けるポートフォリオの悪化が支払能力比率の分母を大きくする。クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルにおいて、信用リスクの合計エクスポージャーの64%は内部格付（1）が適用され、かかる格付については、質が、バーゼルⅢ手法に基づく信用リスクに従った必要資本の計算結果、すなわち、グループの支払能力比率を決定する。したがって、ポートフォリオの全部又は一部の格付の悪化は、グループの支払能力の悪化をもたらしうる。現在のパンデミックは、経済主体の債務の増加及びその財務収益の減少といった観点から、このリスクを増大させており、一部の業務セクター（航空輸送、レジャー、又はホテルやレストランといった、グループがエクスポージャーを有するセクター）において、特に高くなっている（「第一部　企業情報－第５　提出会社の状況－３　コーポレート・ガバナンスの状況等－（１）コーポレート・ガバナンスの概要」－①コーポレート・ガバナンスの状況」を参照のこと）。

＜中略＞

d.　クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルは、一定の主権国家、取引銀行又は大企業グループ（主にフランス）に対して比較的高い単一のエクスポージャーを有しており、これらの一部は公的機関が実施する支援策（すなわち、保証付きローン）から恩恵を受けている。グループの最大顧客の一つ又はそれ以上が債務不履行に陥った場合、グループの収益性が低下する可能性がある。主権国家については、グループは主にフランス（主にユーロ・システムの加盟銀行であるフランス銀行（Banque de France））及びフランス預金供託金庫（Caisse des Dépôts et Consignations）のリスク（規制貯蓄からの預金の集中化のための仕組みにより、フランスのソブリン・リスクに相当する。）にさらされている。主権国家以外では、2020年12月31日現在、銀行及び企業に対する300百万ユーロ（純損益の約10%に相当）を超えるオン及びオフ・バランスシートの単一のエクスポージャーは、それぞれ63億ユーロ（10のカウンターパーティーについて）及び404億ユーロ（64のカウンターパーティーについて）に達した。これらのカウンターパーティーの幾つかが同時に格下げ又は債務不履行となる可能性は排除できず、そうなった場合、グループの収益性に影響が及ぶと考えられる。

＜中略＞

２　グループの活動及びマクロ経済環境に関する財務リスク

＜中略＞

2.2　金利リスク

＜中略＞

b.　同様に、短期・中期・長期金利の急上昇（特にインフレによるもの）は、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの銀行業務純益及びその収益性に重大な悪影響を与える可能性がある。

長期にわたる低金利の終焉、特に金融引き締めによるものは、銀行セクター全般、特にクレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルにリスクをもたらす。これらの金利水準からの突然の退出（特にインフレ率の上昇に関連するもの）は、銀行の収益及び収益性に不利な影響を及ぼす可能性がある。このような金利の上昇は、短期及び中期債務の発行に関する銀行セクター市場でのリファイナンス価格に著しい影響を与える可能性がある。同時に、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルは、顧客預金コストがより急速に増大する傾向がある一方で、個人及び企業に付与された住宅貸出金その他の固定金利貸出金に金利の上昇分を即座に転嫁することが困難になる可能性がある。現時点では利息が付されていない一部の要求払預金は変動性が高く、よりコストの高い

預金（例えば定期預金や通帳口座）に変換される可能性がある。投資家は、変動性の高い預金の一部も、UCITS及び生命保険のようなオフ・バランスシート媒体に移行させる可能性がある。

＜中略＞

３　グループの規制環境に関するリスク

3.1　規制・健全性環境に関するリスク

クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの規制環境は、下記「第一部　企業情報－第３ 事業の状況－３ 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析－１ 2020年度の経済環境及び規制環境－1.2 規制環境」に記載されている。グループは、非常に多くの銀行規制に服している。その幾つかは、銀行規制上の健全性比率に反映されていないが、かかる比率に大きな影響を与える可能性がある。信用リスクに関する1.1項に記載されているとおり、グループのエクスポージャーの大半は、加重リスクの計算に内部モデル手法を用いることを監督当局によって認められている。しかし、「バーゼルⅢの最終化」に係る規則の変更は、加重リスクの計算にマイナスの影響を及ぼし、したがって、グループの支払能力比率にもマイナスの影響を及ぼす。かかるリスクの発生可能性はほぼ確実であるが、その効果的な実施は2022年から2028年の間に段階的に発生する。さらに、その影響は、この規制が実際にどのように国内・欧州法制化されるかに左右される。

＜後略＞

＜訂正後＞

＜前略＞

１　グループの銀行業務及び保険業務に関するリスク

1.1　信用リスク

＜中略＞

b.　二つめの影響は、**支払能力比率の分母における加重リスクを計算する際に使用される手法**に左右される。標準的手法では、信用の質の変化が加重リスクの計算に与える影響は僅かであるため、支払能力比率に対する影響も僅かである。しかし、信用ポートフォリオの加重リスクの計算に内部モデルを用いることにつき監督当局から承認を得ている場合、影響を受けるポートフォリオの悪化が支払能力比率の分母を大きくする。クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルにおいて、信用リスクの合計エクスポージャーの64%は内部格付（1）が適用され、かかる格付については、質が、バーゼルⅢ手法に基づく信用リスクに従った必要資本の計算結果、すなわち、グループの支払能力比率を決定する。したがって、ポートフォリオの全部又は一部の格付の悪化は、グループの支払能力の悪化をもたらしうる。現在のパンデミックは、経済主体の債務の増加及びその財務収益の減少といった観点から、このリスクを増大させており、一部の業務セクター（航空輸送、レジャー、又はホテルやレストランといった、グループがエクスポージャーを有するセクター）において、特に高くなっている（「第一部　企業情報－第５　提出会社の状況－３　コーポレート・ガバナンスの状況等－（１）コーポレート・ガバナンスの概要－①コーポレート・ガバナンスの状況－表31：活動部門別又はカウンターパーティー別のエクスポージャーの信用度（EU CR1-B）－旅行及びレジャー事業」を参照のこと）。

＜中略＞

d.　クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルは主にフランスにおいて、特定の主権国家、取引銀行又は大企業グループ（主にフランス）に対して比較的高い単一のエクスポージャーを有しており、これらの一部は公的機関が実施する支援策（すなわち、保証付きローン）から恩恵を受けている。**グループの最大顧客の一つ又はそれ以上が債務不履行に陥った場合、グループの収益性が低下する可能性がある。**主権国家については、グループは主にフランス（主にユーロ・システムの加盟銀行であるフランス銀行（Banque de France））及びフランス預金供託金庫（Caisse des Dépôts et Consignations）のリスク（規制貯蓄からの預金の集中化のための仕組みにより、フランスのソブリン・リスクに相当する。）にさらされている。主権国家以外では、2020年12月31日現在、銀行及び企業に対する300百万ユーロ（純損益の約10%に相当）を超えるオン及びオフ・バランスシートの単一のエクスポージャーは、それぞれ63億ユーロ（10のカウンターパーティーについて）及び404億ユーロ（64のカウンターパーティーについて）に達した。これらのカウンターパーティーの幾つかが同時に格下げ又は債務不履行となる可能性は排除できず、そうなった場合、グループの収益性に影響が及ぶと考えられる。

＜中略＞

２　グループの活動及びマクロ経済環境に関する財務リスク

＜中略＞

2.2　金利リスク

＜中略＞

b.　同様に、短期・中期・長期金利の急上昇（特にインフレによるもの）は、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの銀行業務純益及びその収益性に重大な悪影響を与える可能性がある。

長期にわたる低金利の終焉、特に金融引き締めによるものは、銀行セクター全般、特にクレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルにリスクをもたらす。これらの金利水準からの突然の退出（特にインフレ率の上昇に関連するもの）は、銀行の収益及び収益性に不利な影響を及ぼす可能性がある。このような金利の上昇は、短期及び中期社債の発行に関する銀行セクター市場でのリファイナンス価格に著しい影響を与える可能性がある。同時に、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルは、顧客預金コストがより急速に増大する傾向がある一方で、個人及び企業に付与された住宅貸出金その他の固定金利貸出金に金利の上昇分を即座に転嫁することが困難になる可能性がある。現時点では利息が付されていない一部の要求払預金は変動性が高く、よりコストの高い預金（例えば定期預金や通帳口座）に変換される可能性がある。投資家は、変動性の高い預金の一部も、UCITS及び生命保険のようなオフ・バランスシート媒体に移行させる可能性がある。

＜中略＞

３　グループの規制環境に関するリスク

3.1　規制・健全性環境に関するリスク

クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの規制環境は、下記「第一部　企業情報－第３ 事業の状況－３ 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析－１ 2020年度の経済環境及び規制環境－1.2 規制環境」に記載されている。グループは、非常に多くの銀行規制に服している。その幾つかは、銀行規制上の健全性比率に反映されていないが、かかる比率に大きな影響を与える可能性がある。上記「第一部　企業情報－第３　事業の内容－２　事業等のリスク－1.1 信用リスク」に記載されているとおり、グループのエクスポージャーの大半は、加重リスクの計算に内部モデル手法を用いることを監督当局によって認められている。しかし、「バーゼルIIIの最終化」に係る規則の変更は、加重リスクの計算にマイナスの影響を及ぼし、したがって、グループの支払能力比率にもマイナスの影響を及ぼす。かかるリスクの発生可能性はほぼ確実であるが、その効果的な実施は2022年から2028年の間に段階的に発生する。さらに、その影響は、この規制が実際にどのように国内・欧州法制化されるかに左右される。

＜後略＞

3【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

＜訂正前＞

1　2020年度の経済環境及び規制環境

1.1　経済環境

パンデミックを特徴とする2020年度

2020年は前例のない健康危機が世界経済を襲った。当年度中、COVID-19による感染の推移が経済活動を中断させた。当年度上半期には複数の国々で厳しいロックダウン措置が行われたことで活動が中断し、世界規模で成長に大きな影響を及ぼした。ロックダウン措置の解除によりこの状況は解消されたが、医学的な解決策がないことからパンデミックのコントロールは困難であり、秋には新たな制限を課すことを余儀なくされた国もあった。このような状況において、政府は中央銀行と共に大規模な介入を行った。企業及び家庭を支援するため、財務支援策や非常に柔軟な金融政策を実施した。ワクチン・キャンペーンの開始、米国においてジョー・バイデンの勝利により政治的な可視性が改善されたこと、英国のEU離脱合意及び欧州復興計画の認可によって当年度末にはかすかな希望が見えてきた。

＜中略＞

1.2　規制環境

＜中略＞

2021年に複数の規制上の問題が協議の中心に残っている。

＜中略＞

2　BFCMの活動及び連結業績

2.1　BFCMの活動及び連結業績－連結範囲

＜中略＞

2.1.3　連結損益計算書の分析

＜中略＞

リスク費用及び不良債権

＜中略＞

貸出金残高に対する割合として、顧客リスク費用は2019年度末の39ベーシス・ポイントと比べて、2020年度には63ベーシス・ポイントとなった。

＜中略＞

クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの事業体との取引

BFCMの2020年度の連結営業総損失は、BFCMの連結範囲に含まれないクレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの事業体（主に地元銀行及びCFCM）との取引に関連して、マイナス277百万ユーロとなった。

＜中略＞

2.1.4　事業別業績の分析

＜中略＞

2.1.4.4　コーポレート・バンキング及び資本市場

＜中略＞

資本市場

2020年12月末における資本市場の銀行利益純益は319百万ユーロとなった（2019年12月末現在は337百万ユーロであった。）。

＜中略＞

2.1.5　代替的業績測定指標

代替的業績測定指標（APM）－フランス金融市場庁（Autorité des marchés financiers（AMF））の一般規則第223-1条／ESMAの方針（ESMA/2015/1415）

標題	定義／計算方法	比率の使用理由
	＜中略＞	
未確定リスクの費用	12ヶ月の予想損失（S1）＋満期における予想損失（S2）－ 財務書類の注記を参照のこと。IFRS第９号の適用。個別の減損が客観的に示されていない全ての金融資産について減損が認識される。	未実現リスクのレベル測定

＜中略＞

貸出金／預金比率；コミットメント係数	連結財政状態計算書の項目を使用して計算される比率：顧客預金（連結財政状態計算書の負債の部のおける「顧客に対する債務」の項目）に対する顧客への貸出金合計（連結財政状態計算書の資産の部における「顧客への貸出金及び債権」）の割合として表示される比率)	外部リファイナンスへの依存度の測定
カバレッジ比率	信用リスクに係る引当金（S3減損）の、規制に基づいてデフォルトと認識される残高総額（個別減損S3の対象となっている債権の総額）に対する比率として計算されることで決定される	このヘッジ率は、デフォルトに陥った貸出金（「不良債権」）に関連する最大残余リスクを測定する

＜中略＞

3　BFCMの活動及び親会社の業績

3.1　BFCMの事業活動

＜中略＞

2020年度のリファイナンス・プログラム

2020年度に調達された公募発行額は92億ユーロ相当であった。内訳は以下のとおりである。

・　BFCMによるシニアユーロ中期債（EMTN）の発行

＜中略＞

対象となるリファイナンス事業

2019年に承認された２件の融資枠について2020年に欧州投資銀行（EIB）と契約した。

・　若手農業従事者及び気候変動の緩和を対象として、農業及びバイオエコノミー分野のSME及びISE向け100百万ユーロの融資パッケージ（気候変動の緩和に最低50%が拠出される。）。2020年12月にBFCMは最初のトランシェ（９年の期間で50百万ユーロ）の貸付を実行した。

＜中略＞

3.2　BFCMの年次財務書類についての経営陣の報告

3.2.1　貸借対照表

＜中略＞

関連会社への投資は163億ユーロで、主にドイツのタルゴバンク・（57億ユーロ）、CIC（41億ユーロ）、ファクトフランス（15億ユーロ）、グループ・デ・ザシュランス・デュ・クレディ・ミュチュエル（13億ユーロ）及びコフィディ・グループ（16億ユーロ）への株式投資で構成されていた。非連結上場会社への株式投資は４億ユーロと安定していた。

＜後略＞

＜訂正後＞

1　2020年度の経済環境及び規制環境

1.1　経済環境

パンデミックを特徴とする2020年度

2020年度は前例のない健康危機が世界経済を襲った。当年度中、COVID-19による感染の推移が経済活動を中断させた。当年度上半期には複数の国々で厳しいロックダウン措置が行われたことで活動が中断し、世界規模で成長に大きな影響を及ぼした。ロックダウン措置の解除によりこの状況は解消されたが、医学的な解決策がないことからパンデミックのコントロールは困難であり、秋には新たな制限を課すことを余儀なくされた国もあった。このような状況において、政府は中央銀行と共に大規模な介入を行った。企業及び家庭を支援するため、財務支援策や非常に柔軟な金融政策を実施した。ワクチン・キャンペーンの開始、米国においてジョー・バイデンの勝利により政治的な可視性が改善されたこと、英国のEU離脱合意及び欧州復興計画の認可によって当年度末にはかすかな希望が見えてきた。

＜中略＞

1.2　規制環境

＜中略＞

2021年度に複数の規制上の問題が協議の中心に残っている。

＜中略＞

2　BFCMの活動及び連結業績

2.1 BFCMの活動及び連結業績－連結範囲

＜中略＞

2.1.3 連結損益計算書の分析

＜中略＞

リスク費用及び不良債権

＜中略＞

貸出金残高に対する割合として、顧客リスク費用は2019年度末の39ベーシス・ポイントと比べて、2020年度末には63ベーシス・ポイントとなった。

＜中略＞

クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの事業体との取引

BFCMは2020年度の連結営業総利益において、BFCMの連結範囲に含まれないクレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの事業体（主に地元銀行及びCFCM）との取引に関連して、マイナス277百万ユーロの損失を発生させた。

＜中略＞

2.1.4 事業別業績の分析

＜中略＞

2.1.4.4 コーポレート・バンキング及び資本市場

＜中略＞

資本市場

2020年12月末現在における資本市場の銀行利益純益は319百万ユーロとなった（2019年12月末現在は337百万ユーロであった。）。

＜中略＞

2.1.5 代替的業績測定指標

代替的業績測定指標（APM）－フランス金融市場庁（Autorité des marchés financiers (AMF)）の一般規則第223-1条／ESMAの方針（ESMA/2015/1415）

標題	定義／計算方法	比率の使用理由
	＜中略＞	
未確定リスクの費用	12ヶ月の予想損失（S1）＋満期における予想損失（S2）－ 財務書類の注記を参照のこと。IFRS第９号の適用。個別の損失が客観的に示されていない全ての金融資産について減損が認識される。	未実現リスクのレベル測定
	＜中略＞	
貸預貸率；コミットメント係数	連結財政状態計算書の項目を使用して計算される比率：顧客預金（連結財政状態計算書の負債の部の「顧客に対する債務」の項目）に対する顧客への貸出金合計（連結財政状態計算書の資産の部における「顧客への貸出金及び債権」）の割合として表示される比率	外部リファイナンスへの依存度の測定
カバレッジ比率	信用リスクに係る引当金（S3減損）の、規制に基づいてデフォルトと認識される残高総額（個別減損の対象となっている債権の総額 S3）に対する比率として計算されることで決定される	このヘッジ率は、デフォルトに陥った貸出金（「不良債権」）に関連する最大残余リスクを測定する

＜中略＞

3 BFCMの活動及び親会社の業績

3.1 BFCMの事業活動

＜中略＞

2020年度のリファイナンス・プログラム

2020年度に調達された公募発行額は92億ユーロ相当であった。内訳は以下のとおりである。

・ BFCMによるシニアEMTNの発行

＜中略＞

対象となるリファイナンス事業

2019年に承認された２件の融資枠について2020年に欧州投資銀行（EIB）と契約した。

・ 2020年３月：若手農業従事者及び気候変動の緩和を対象として、農業及びバイオエコノミー分野のSME及びISE向け100百万ユーロの融資パッケージ（気候変動の緩和に最低50%が拠出される。）。2020年12月にBFCMは最初のトランシェ（９年の期間で50百万ユーロ）の貸付を実行した。

＜中略＞

3.2 BFCMの年次財務書類についての経営陣の報告

3.2.1 貸借対照表

＜中略＞

関連会社への投資は163億ユーロで、主にドイツのタルゴバンク（57億ユーロ）、CIC（41億ユーロ）、ファクトフランス（15億ユーロ）、グループ・デ・ザシュランス・デュ・クレディ・ミュチュエル（13億ユーロ）及びコフィディ・グループ（16億ユーロ）への株式投資で構成されていた。非連結上場会社への株式投資は４億ユーロと安定していた。

＜後略＞

第５【提出会社の状況】

１【株式等の状況】

（５）【大株主の状況】

＜訂正前＞

2020年12月31日現在のBFCMの株式資本の分配

氏名又は名称	住所	所有株式数（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
＜中略＞			
CRCM・ロワール・アトランティック・サントル－ウエスト	ナント CS14003、リュ・ド・リュー10、セデックス１、フランス	741,959	2.20
＜中略＞			
CRCM・メディテラネ	マルセイユ 13267、アヴェニュ・デュ・プラド 494、フランス	74,510	0.22
＜中略＞			
2020年12月31日現在の10大株主の小計		33,665,998	99.69
その他の株主		*104,592*	*0.31*

＜後略＞

＜訂正後＞

2020年12月31日現在のBFCMの株式資本の分配

氏名又は名称	住所	所有株式数（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
＜中略＞			
CRCM・ロワール―アトランティック・サントル－ウエスト	ナント CS14003、リュ・ド・リュー10、セデックス１、フランス	741,949	2.20
＜中略＞			
CRCM・メディテラネ	マルセイユ 13267、アヴェニュ・デュ・プラド 494、フランス	74,480	0.22
＜中略＞			
2020年12月31日現在の10大株主の小計		33,665,958	99.69
その他の株主		*104,632*	*0.31*

＜後略＞

３【コーポレート・ガバナンスの状況等】

（１）【コーポレート・ガバナンスの概要】

① コーポレート・ガバナンスの状況

＜訂正前＞

１　BFCM－コーポレート・ガバナンス報告書

＜中略＞

1.2　取締役会の業務の整備及び編成

＜中略＞

1.2.5　経営陣

＜中略＞

リスク及び自己資本規制－第３の柱の導入

クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの第３の柱の報告の目的は、バーゼル協定の第１の柱及び第２の柱で要求される資本及びリスクに関する最低限の規制上の要件に対する補足情報を、資本及びリスクに関する追加データの形式で提供することである。この補足情報は、主として、必要資本に関するEU規則第575/201号3第８部に記載される報告要件に関する指針及び流動性カバレッジ比率（LCR）の報告に関する欧州銀行監督機構の指針を遵守することを目的として提供される。

＜中略＞

２　主要な数値

2.1　支払能力

支払能力比率

＜中略＞

表２：リスクの種類別のリスク加重資産（RWAS）*（金額）*

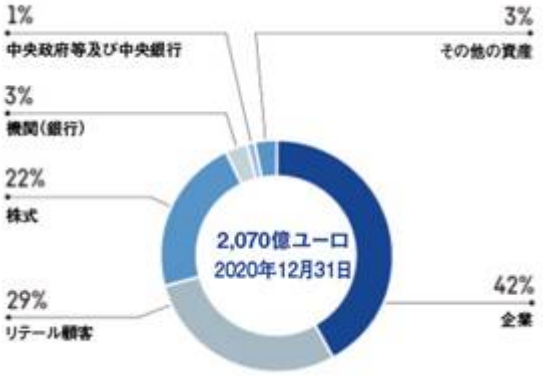
（単位：百万ユーロ）	2019年 12月31日現在	2019年 12月31日現在

＜中略＞

信用リスク

＜中略＞

グラフ６：カテゴリー別のリスク加重資産（RWAS）*（割合）*



＜中略＞

４　規制上の枠組の範囲

＜中略＞

表９：会計上の連結範囲と規制上の連結の違い及び財務諸表と規制上のリスク区分の項目の相関関係（EU LI1）

＜中略＞

（単位：百万ユーロ）	財務書類において公表された簿価	規制上の連結範囲の簿価	各項目の簿価 信用リスク枠組みの対象	各項目の簿価 カウンターパーティー・リスク枠組みの対象(1)	各項目の簿価 証券化規定の対象	各項目の簿価 市場リスク枠組みの対象(1)	各項目の簿価 資本要件の対象でないか資本からの控除の対象
負債							

＜中略＞

顧客に対する債務	408,901	409,704	-	565	-	-	709,140

＜中略＞

５　自己資本

5.1　自己資本の構成（EU CC1）

＜中略＞

Tier 2資本

＜中略＞

表12：財政状態計算書に対する規制上の自己資本の調整（EU CC2）

＜中略＞

（単位：百万ユーロ）	CET1	AT1	T2
控除及び調整項目の詳細	-224	-	-323

（一）任意で1.250%で加重される証券化ポジション	-12	-	-
（一）機関が重要な投資を行っていない関連事業体の証券	-	-	-
（一）期間が重要な投資を行っている関連事業体の証券	-	-	-500
資本水準による過剰控除	-	-	-
内部格付手法の使用時に引当金と予想損失に生じるマイナスの差	-259	-	-
内部格付手法の使用時に引当金と予想損失に生じるプラスの差	-		610
信用リスク調整－標準的手法	-	-	-
調整項目：キャッシュ・フロー・ヘッジに対する余剰金	-	-	-
調整項目：保守的評価の要件による調整	-65	-	-
調整項目：デリバティブ負債証券に対する自己の信用リスクに起因する合弁会社の利益又は損失	-2	-	-
その他	113	-	-433

＜中略＞

6　健全性測定基準

6.1　支払能力比率（EU CC1）

＜中略＞

表16：カウンターシクリカル資本バッファーの計算を目的とした、関連する信用エクスポージャーの地域別内訳（EU CCY-B1）

＜中略＞

	2019年12月											
	一般的な信用エクスポージャー		トレーディング勘定エクスポージャー		証券化エクスポージャー		自己資本要件					
（単位：百万ユーロ）	標準的手法使用時にリスクにさらされる金額	内部的手法使用時にリスクにさらされる金額	トレーディング勘定のショート・ポジションとロング・ポジションの合計	内部モデル手法使用時のトレーディング勘定	標準的手法使用時にリスクにさらされる金額	内部的手法使用時にリスクにさらされる金額	うち一般的な信用エクスポージャー	うちトレーディング勘定エクスポージャー	うち証券化エクスポージャー	合計	自己資本要件の加重	カウンターシクリカル資本バッファー
＜中略＞												
リトアニア	4	-	-	-	-	-	0	-	-	-	0.00%	1.00%
アイスランド	1	-	-	-	-	-	0	-	-	-	0.00%	1.75%

＜中略＞

8　信用リスク

＜中略＞

8.2　エクスポージャー

＜中略＞

次へ

表25：業界又はカウンターパーティーの種類別エクスポージャーの集中（EU CRB-D）

＜中略＞

規制又は取引相手別エクスポージャー純額 （単位：百万ユーロ） 2020年12月31日現在	行政	銀行及び金融機関	リテール顧客	個人事業主	農業	非営利団体	旅行及びレジャー事業	化学	物流	自動車	建設及び建材	製造及びサービス業	ヘルスケア	その他の金融活動	運輸	家庭用品	不動産開発	その他の不動産（リース及び再投資を含む）	公共事業	食料・飲料	メディア	持株会社及び混合型企業	ハイテク	石油及びガス商品	通信	その他のグループ子会社[1]	その他	株式	その他の資産	合計
＜中略＞																														
リテール顧客	-	-	229,226	17,228	6,846	700	3,060	58	5,428	1,022	4,093	2,918	548	2,293	1,446	427	-	2,449	294	725	348	990	371	106	31	-	7,758	-	-	288,428

＜中略＞

8.3　資産の信用度(EU CRB-A)

＜中略＞

8.3.4　健康危機の状況において法的支払猶予の対象となるエクスポージャー

＜中略＞

表29：法的支払猶予及び非法的支払猶予の対象となる貸出金及び前渡金の残存満期別の金額

（単位：百万ユーロ） 2020年12月31日現在	債務者の数	簿価総額	うち：立法府による支払猶予の対象	うち：支払猶予が終了したもの	支払猶予の残存満期				
					3ヶ月以内	3ヶ月超6ヶ月以内	6ヶ月超9ヶ月以内	9ヶ月超12ヶ月以内	1年超
＜中略＞									
うち：非金融企業	-	53,384	45	54,888	493	2	-	-	-
うち：中小企業	-	*49,124*	*45*	*48,644*	*478*	*2*	-	-	-
うち：商業用不動産に担保された貸出金	-	*1,027*	-	*1,027*	-	-	-	-	-

＜中略＞

次へ

8.3.5 条件変更されたエクスポージャー

＜中略＞

表30：エクスポージャーのカテゴリー別及び金融商品別のエクスポージャーの信用度（EU CR1-A）

（単位：百万ユーロ） 2020年12月31日現在	総エクスポージャー 稼働エクスポージャー	不良エクスポージャー	特定の引当金	集合的引当金	純額

＜中略＞

稼働エクスポージャー	-	5,801	3,314	-	2,667

＜中略＞

表32：地域別のエクスポージャーの信用度（EU CR1-C）

＜中略＞

（単位：百万ユーロ） 2019年12月31日現在	総エクスポージャー 稼働エクスポージャー	不良エクスポージャー	特定の引当金	集合的引当金	純額

＜中略＞

合計	**662,006**	**12,310**	**8,844**	**-**	**665,473**

表33：期限到来済エクスポージャーの経過期間（EU CR1-D）

（単位：百万ユーロ） 2020年12月31日現在	簿価総額 正常貸出金 期限を超過していないもの又は超過が30日以内もの	正常貸出金 超過が30日超90日以内のもの	正常貸出金 期限を超過している可能性のあるもの又は超過が90日以内のもの	不良債権 超過が90日超180日以内のもの	不良債権 超過が180日超1年以内のもの	不良債権 超過が1年超5年以内のもの	不良債権 超過が5年超のもの
貸出金	570,332	1,444	3,064	700	1,056	5,874	1,896
負債証券	36,609	-	206	-	-	136	-
合計	**606,942**	**1,444**	**3,270**	**700**	**1,056**	**5,874**	**1,896**

（単位：百万ユーロ） 2019年12月31日現在	簿価総額 正常貸出金 期限を超過していないもの又は超過が30日以内もの	正常貸出金 超過が30日超90日以内のもの	正常貸出金 期限を超過している可能性のあるもの又は超過が90日以内のもの	不良債権 超過が90日超180日以内のもの	不良債権 超過が180日超1年以内のもの	不良債権 超過が1年超5年以内のもの	不良債権 超過が5年超のもの
貸出金	491,332	1,035	2,799	405	644	7,911	404
負債証券	38,388	-	48	-	-	-	-
合計	**529,720**	**1,035**	**2,847**	**405**	**644**	**8,047**	**404**

＜中略＞

次へ

表35：放棄されたエクスポージャーの信用度（EU テンプレート１）

	再構築されたエクスポージャーの簿価／額面価格合計				信用リスクに関連する減損合計及び公正価値のマイナスの変動		再構築されたエクスポージャーに係る受領した担保及び保証	
		不良債権						
（単位：百万ユーロ） 2019年12月31日現在	正常貸出金		うち債務不履行となったもの	減損されたもの	再構築された正常貸出金	再構築された不良債権		うち再構築されたエクスポージャーにかかる受領した担保及び保証

＜中略＞

表36：超過期限別の稼働エクスポージャー及び不良エクスポージャーの信用度（EU テンプレート３）
簿価／額面価格

	簿価／額面価格									
	正常貸出金			不良債権						
（単位：百万ユーロ） 2020年12月31日現在		期限を超過していないもの又は超過が30日以内もの	超過が30日超90日以内のもの		期限を超過している可能性のあるもの又は超過が90日以内のもの	超過が90日超180日以内のもの	超過が180日超１年以内のもの	超過が１年超のもの	うち債務不履行となったもの
＜中略＞										
その他の金融機関	10,877	10,878	9	217	29	8	7	172	217
＜中略＞										

表37：稼働及び不良エクスポージャー並びに関連する引当金（EUテンプレート４）

	簿価／額面価格合計						信用リスクによる減損合計及び公正価値のマイナスの変動							受領した担保及び保証	
		正常貸出金			不良債権			正常貸出金に係る減損合計及び公正価値の調整			不良債権に係る減損合計及び公正価値の調整				
（単位：百万ユーロ） 2019年12月31日現在		うちステージ１	うちステージ２		うちステージ２	うちステージ３		うちステージ１	うちステージ２		うちステージ２	うちステージ３	累積戻入（一部）	正常貸出金	不良債権
＜中略＞															
信用機関	31,223	30,974	249	43		43	-2	-2	0	-21	-	-21	-	176	4
＜中略＞															

8.6 内部格付システム

＜中略＞

8.6.2 モデルのマッピング

＜中略＞

表41：内部格付手法－エクスポ－ジャー種別及びPD範囲別信用リスク・エクスポ－ジャー（EU CR6）

＜中略＞

(単位：百万ユーロ) 2020年12月31日現在	デフォルト確率（PD）の範囲	財政状態計算書上の当初総エクスポージャー	CCF適用前のオフ・バランスシート上のエクスポージャー	平均CCF (%)	EAD	平均PD (%)	債務者の数	デフォルト時損失発生率 (LGD) (%)	平均残存期間（年）	RWA	RWAの密度 (%)	EL	適格引当金
うちその他のリテール顧客													
			＜中略＞										
	0.50以上0.75未満	9,062	1,793	41	7,908	0.62	459,521	18	-	1,034	13	9	9
			＜中略＞										

2019年12月31日現在 (単位：百万ユーロ)	デフォルト確率（PD）の範囲	財政状態計算書上の当初総エクスポージャー	CCF適用前のオフ・バランスシート上のエクスポージャー	平均CCF (%)	EAD	平均PD (%)	債務者の数	デフォルト時損失発生率 (LGD) (%)	平均残存期間（年）	RWA	RWAの密度 (%)	EL	適格引当金
			＜中略＞										
機関（銀行）													
	0以上0.15未満	26,391	2,268	32	27,053	0.04	185	34	2.5	3,661	14	3	5
	0.15以上0.25未満	172	313	63	379	0.23	44	39	2.5	231	61	0	0
			＜中略＞										

(単位：百万ユーロ) 2019年12月31日現在	デフォルト確率（PD）の範囲	財政状態計算書上の当初総エクスポージャー	CCF適用前のオフ・バランスシート上のエクスポージャー	平均CCF (%)	EAD	平均PD (%)	債務者の数	デフォルト時損失発生率 (LGD) (%)	平均残存期間（年）	RWA	RWAの密度 (%)	EL	適格引当金
不動産抵当により担保されたエクスポージャー													
	0以上0.15未満	48,532	1,369	41	49,092	0.07	376,778	14	0.0	1,237	3	5	4
	0.15以上0.25未満	19,448	518	41	19,660	0.19	142,919	14	0.0	1,112	6	5	4
	0.25以上0.50未満	27,785	640	41	28,048	0.37	193,525	15	0.0	2,604	9	15	10
	0.50以上0.75未満	7,163	184	42	7,240	0.58	36,327	17	0.0	968	13	7	5
	0.75以上2.50未満	19,986	620	41	20,243	1.32	145,776	15	0.0	4,371	22	39	44
	2.50以上10.00未満	11,121	283	42	11,241	4.74	71,817	15	0.0	5,201	46	79	145
	10.00以上100.00未満	3,723	52	42	3,745	19.69	25,485	15	0.0	3,000	80	110	167
	100（デフォルト）	2,230	8	41	2,234	100.00	19,681	46	0.0	747	33	965	742
	小計	**139,990**	**3,675**	**41**	**141,503**	**2.82**	**1,012,308**	**15**	**0.0**	**19,240**	**14**	**1,226**	**1,121**
うち中小企業													
	0以上0.15未満	0	0	0	0	0.00	0	-	0.0	-	-	-	-
	0.15以上0.25未満	1,380	37	42	1,395	0.16	10,377	15	0.0	61	4	0	0
	0.25以上0.50未満	6,310	131	42	6,365	0.36	36,576	17	0.0	539	8	4	1
	0.50以上0.75未満	4,576	116	42	4,626	0.58	22,779	17	0.0	577	12	5	3
	0.75以上2.50未満	4,387	157	42	4,453	1.57	22,999	17	0.0	1,032	23	12	11
	2.50以上10.00未満	3,271	121	43	3,323	4.86	17,174	17	0.0	1,487	45	27	37
	10.00以上100.00未満	1,354	24	42	1,365	19.19	8,081	16	0.0	994	73	43	65
	100（デフォルト）	578	1	42	578	100.00	4,261	48	0.0	240	41	260	195
	小計	**21,857**	**587**	**42**	**22,105**	**5.08**	**122,247**	**17**	**0.0**	**4,929**	**22**	**350**	**313**
うち非中小企業													
	0以上0.15未満	48,532	1,369	41	49,092	0.07	376,778	14	0.0	1,237	3	5	4
	0.15以上0.25未満	18,069	481	41	18,266	0.20	132,542	14	0.0	1,052	6	5	4
	0.25以上0.50未満	21,475	509	41	21,683	0.37	156,949	14	0.0	2,065	10	11	9
	0.50以上0.75未満	2,586	68	42	2,615	0.57	13,548	16	0.0	391	15	2	2
	0.75以上2.50未満	15,599	463	41	15,790	1.24	122,777	14	0.0	3,340	21	27	33
	2.50以上10.00未満	7,850	162	41	7,917	4.68	54,643	14	0.0	3,714	47	52	107
	10.00以上100.00未満	2,369	28	41	2,381	19.98	17,404	14	0.0	2,005	84	67	102

	100（デフォルト）	1,652	7	41	1,655	100.00	15,420	45	0.0	507	31	706	547
	小計	**118,133**	**3,088**	**41**	**119,398**	**2.40**	**890,061**	**14**	**0.0**	**14,311**	**12**	**875**	**807**
うちリボルビング													
	0以上0.15未満	2,343	5,708	20	3,491	0.08	529,740	30	0.0	56	2	1	1
	0.15以上0.25未満	1,116	1,616	20	1,441	0.21	196,809	30	0.0	52	4	1	1
	0.25以上0.50未満	528	594	20	647	0.38	76,376	30	0.0	38	6	1	1
	0.50以上0.75未満	785	881	20	962	0.51	152,567	30	0.0	71	7	1	1
	0.75以上2.50未満	1,491	1,198	20	1,732	1.50	276,869	30	0.0	287	17	8	6
	2.50以上10.00未満	781	400	20	861	5.29	144,909	30	0.0	344	40	14	10
	10.00以上100.00未満	213	55	20	224	19.75	44,288	30	0.0	189	84	13	10
	100（デフォルト）	130	6	20	132	100.00	22,581	56	0.0	30	23	71	94
	小計	**7,388**	**10,457**	**20**	**9,489**	**2.75**	**1,444,139**	**31**	**0.0**	**1,066**	**11**	**110**	**123**

（単位：百万ユーロ） 2019年12月31日現在	デフォルト確率（PD）の範囲	財政状態計算書上の当初総エクスポージャー	CCF適用前のオフ・バランスシート上のエクスポージャー	平均CCF（%）	EAD	平均PD（%）	債務者の数	デフォルト時損失発生率（LGD）（%）	平均残存期間（年）	RWA	RWAの密度（%）	EL	適格引当金
うちその他のリテール顧客													
	0以上0.15未満	35,639	4,211	52	37,820	0.06	1,686,777	13	0.0	922	2	3	2
	0.15以上0.25未満	11,204	2,017	48	12,178	0.20	666,812	15	0.0	727	6	4	3
	0.25以上0.50未満	10,859	1,661	40	11,520	0.36	261,710	15	0.0	990	9	6	4
	0.50以上0.75未満	6,227	1,742	40	6,921	0.61	430,971	18	0.0	909	13	8	5
	0.75以上2.50未満	11,749	3,820	43	13,409	1.49	863,755	16	0.0	2,387	18	33	33
	2.50以上10.00未満	8,301	2,092	44	9,214	5.28	509,622	18	0.0	2,256	24	89	123
	10.00以上100.00未満	2,091	265	42	2,202	21.71	176,806	18	0.0	818	37	87	98
	100（デフォルト）	2,326	104	86	2,415	100.00	116,978	59	0.0	972	40	1,339	1,457
	小計	**88,396**	**15,911**	**46**	**95,678**	**3.88**	**4,713,431**	**16**	**0.0**	**9,980**	**10**	**1,569**	**1,725**
中小企業													
	0以上0.15未満	0	0	100	0	0.00	0	-	0.0	-	-	-	-
	0.15以上0.25未満	2,354	527	38	2,551	0.20	63,204	18	0.0	160	6	1	1
	0.25以上0.50未満	3,384	882	32	3,663	0.33	68,358	18	0.0	304	8	2	1
	0.50以上0.75未満	4,646	1,186	32	5,027	0.63	71,483	19	0.0	646	13	6	4
	0.75以上2.50未満	5,743	1,385	34	6,220	1.62	104,927	19	0.0	1,168	19	19	15
	2.50以上10.00未満	5,768	1,223	37	6,218	5.49	117,196	19	0.0	1,470	24	64	60
	10.00以上100.00未満	1,445	198	36	1,517	22.44	50,870	19	0.0	541	36	64	71
	100（デフォルト）	1,582	91	89	1,664	100.00	39,736	60	0.0	771	46	934	1,005
	小計	**24,922**	**5,492**	**35**	**26,860**	**9.29**	**515,774**	**21**	**0.0**	**5,061**	**19**	**1,090**	**1,157**
うち非中小企業													
	0以上0.15未満	35,639	4,211	52	37,820	0.06	1,686,777	13	0.0	922	2	3	2
	0.15以上0.25未満	8,851	1,490	52	9,626	0.20	603,608	14	0.0	566	6	3	2
	0.25以上0.50未満	7,475	779	49	7,856	0.37	193,352	13	0.0	686	9	4	3
	0.50以上0.75未満	1,581	556	56	1,894	0.54	359,488	17	0.0	262	14	2	1

0.75以上2.50未満	6,006	2,435	49	7,189	1.37	758,828	14	0.0	1,219	17	14	18
2.50以上10.00未満	2,534	869	53	2,996	4.84	392,426	17	0.0	786	26	25	63
10.00以上100.00未満	646	66	59	685	20.09	125,936	17	0.0	277	40	23	27
100（デフォルト）	744	12	63	752	100.00	77,242	56	0.0	201	27	405	452
小計	**63,475**	**10,419**	**51**	**68,818**	**1.77**	**4,197,657**	**14**	**0.0**	**4,919**	**7**	**479**	**568**

＜中略＞

次へ

8.6.5　追加の定量的情報

＜中略＞

表44：内部格付－特定貸付債権及び株主資本（EU CR10）

＜中略＞

カテゴリー	エクスポージャー額	リスク加重	RWA	資本要件
＜中略＞				
その他の株式に対するエクスポージャー(1)	10,118	370%	34,437	2,995
＜中略＞				

9　カウンターパーティー・リスク

CCRに関する定性的情報の報告要件（EU CCRA）

＜中略＞

表45：手法別のCCRエクスポージャー分析（EU CCR1）

＜中略＞

（単位:百万ユーロ） 2019年12月31日現在	額面価格	再調達コスト／時価	将来発生し得る信用エクスポージャー	実質期待ポジティブ・エクスポージャー	乗数	EAD（ポストCRMリスクにさらされる価値）	RWA
＜中略＞							
合計	-	-	-	-	-	-	**1,860**

表46：CVAの必要資本（EU CCR2）

（単位:百万ユーロ） 2020年12月31日現在	エクスポージャー額	RWA
先進的CVA要件によるポートフォリオ合計		
ｉ)VaRの要素（３倍乗数を含む。）		
ii）ストレス下におけるSVaRの要素（３倍乗数を含む。）		
標準的CVA要件によるポートフォリオ合計	1,549	501
原エクスポージャーに基づく方法の合計		
信用評価調整（CVA）資本コストに基づく合計	1,549	501

（単位:百万ユーロ） 2019年12月31日現在	エクスポージャー額	RWA
先進的CVA要件によるポートフォリオ合計		
ｉ)VaRの要素（３倍乗数を含む。）		
ii）ストレス下におけるSVaRの要素（３倍乗数を含む。）		
標準的CVA要件によるポートフォリオ合計	1,777	582
原エクスポージャーに基づく方法の合計		
CVA資本コストに基づく合計	1,777	582

＜中略＞

次へ

表48：内部格付手法－ポートフォリオ及びPD範囲別のCCRエクスポージャー（EU CCR4）

（単位：百万ユーロ） 2020年12月31日現在	デフォルト確率（PD）の範囲	EAD	平均PD	債務者の数	平均LGD	満期の平均	RWA	RWAの密度
機関（銀行）								
			＜中略＞					
	0.25以上0.50未満	234	0.44	10	6	1.6	40	4
			＜中略＞					
企業								
	0以上0.15未満	2,982	0.04	120	10	2.4	132	4
	0.15以上0.25未満	-	-	-	-	0.0	-	-
			＜中略＞					

次へ

表51：セントラル・カウンターパーティーへのエクスポージャー（EU CCR8）

（単位：百万ユーロ） 2020年12月31日現在	CRM後のEAD	RWA
＜中略＞		
QCCPに対する取引エクスポージャー（当初マージン及びデフォルト・ファンドの拠出金を除く。）	-	-
＜中略＞		

（単位：百万ユーロ） 2019年12月31日現在	CRM後のEAD	RWA
＜中略＞		
QCCPに対する取引エクスポージャー（当初マージン及びデフォルト・ファンドの拠出金を除く。）	-	-
＜中略＞		

10　信用リスクの緩和手法（EU CRC）

＜中略＞

10.4　保護提供者の主要なカテゴリー

＜中略＞

表52：信用リスク緩和（CRM）－概要（EU CR3）

（単位：百万ユーロ） 2020年12月31日現在	無担保エクスポージャー－簿価	担保付エクスポージャー－簿価(1)	担保で保全されたエクスポージャー	金融保証で保全されたエクスポージャー	クレジット・デリバティブに保全されたエクスポージャー
＜中略＞					

11　証券化（EU SECA）

＜中略＞

11.7　証券化商品の種類別のエクスポージャー

＜中略＞

表59：規則（EU）2017/2401が適用される、信用度の段階別の残高内訳（EU SEC3）

信用度 *（EAD、単位：百万ユーロ）*	2019年12月31日現在	
	バンキング勘定	トレーディング勘定
	外部格付手法	
＜中略＞		
E14	7	-
＜中略＞		

12　資本市場リスク（EU MRA）

12.1　一般構造

＜中略＞

グループ財務

この事業分野は、３つのチームで組織されており、そのうちの１つが、現金及び流動性の管理を専門としている。このチームは、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの全リファイナンス活動を集中化し、流動性資産の規制管理を徹底している。当チームは、パリ、ロンドン並びに米国（US 144Aフォーマット）、アジア（サムライ債）及びオーストラリア（カンガルー債）におけるその投資家基盤並びにクレディ・ミュチュエル－CIC住宅貸出金SFHを含むリファイナンスツールの多角化を模索している。もう１つのチームは担保管理及び監視を専門としており、３つ目のチームは、銀行の決済業務（決済業務の様々なリスクは事業分野リスクに統合される。）を専門としている。

＜中略＞

12.2　内部統制制度

＜中略＞

毎月会議を行う市場リスク委員会及び３ヶ月ごとに会議を行うグループ財務リスク委員会は、CIC及びBFCMの取締役会が定める制限内で、（フランス及び支店の）CM－CIC・マルシェ及びグループ財務の戦略、業績及びリスクを監視している。

＜中略＞

13．　資産負債管理（ALM）リスク

＜中略＞

13.2　金利リスク管理（EU IRRBBA）

＜中略＞

13.2.2　測定及び監視システム並びにヘッジ手続

＜中略＞

－　BFCMグループについては、感応度は１年間では－147.2百万ユーロ（NBIに占める割合で1.62%）、２年間では－157.9百万ユーロ（NBIに占める割合で－1.74%）であった。

＜中略＞

13.3　流動性リスク管理（EU LIQA&EU LIQ1）

＜中略＞

13.3.5　規制上の指標及び流動性準備金

＜中略＞

表66：クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの連結財政状態計算書における契約上の将来キャッシュ・フローの残存満期別内訳（元本及び利息）

	契約上の残存満期							
（単位：百万ユーロ） 2020年12月31日現在	1ヶ月以内(1)	1ヶ月超3ヶ月以内	3ヶ月超1年以内	1年超2年以内	2年超5年以内	5年超	無期限(2)	合計

＜中略＞

うち劣後債	*0*	*0*	*0*	*0*	*2,028*	*4,252*	*1,024*	*7,034*

＜中略＞

18　報酬（EU REMA）

18.1　報酬監督機関

＜中略＞

－　クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの連結グループの親会社としてのCFCMにより連結されているクレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラル事業体（規模、内部組織並びに業務の性質、規模、複雑性及びクロスボーダー性により、取締役会の判断により連結範囲に該当する事業体）

＜後略＞

＜訂正後＞

１　BFCM－コーポレート・ガバナンス報告書

＜中略＞

1.2　取締役会の業務の整備及び編成

＜中略＞

1.2.5　経営陣

＜中略＞

リスク及び自己資本規制－第３の柱の導入

クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの第３の柱の報告の目的は、バーゼル協定の第１の柱及び第２の柱で要求される資本及びリスクに関する最低限の規制上の要件に対する補足情報を、資本及びリスクに関する追加データの形式で提供することである。この補足情報は、主として、必要資本に関するEU規則第575/2013号第８部に記載される報告要件に関する指針及び流動性カバレッジ比率（LCR）の報告に関する欧州銀行監督機構の指針を遵守することを目的として提供される。

＜中略＞

２　主要な数値

2.1　支払能力

支払能力比率

＜中略＞

表２：リスクの種類別のリスク加重資産（RWAS）*（金額）*

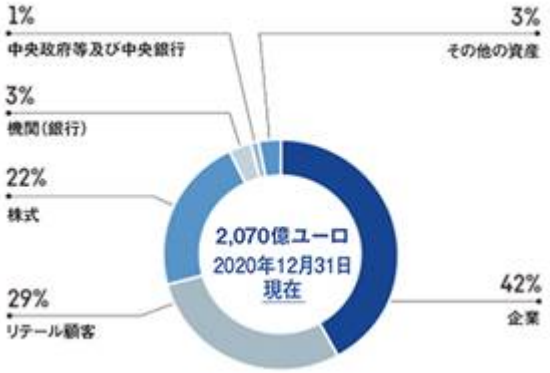
（単位：百万ユーロ）	2020年12月31日現在	2019年12月31日現在

＜中略＞

信用リスク

＜中略＞

グラフ６：カテゴリー別のリスク加重資産（RWAS）*（割合）*



＜中略＞

4　規制上の枠組の範囲

＜中略＞

表９：会計上の連結範囲と規制上の連結の違い及び財務諸表と規制上のリスク区分の項目の相関関係（EU LI1）

＜中略＞

			各項目の簿価				
	財務書類において公表された簿価	規制上の連結範囲の簿価	信用リスク枠組みの対象	カウンターパーティー・リスク枠組みの対象(1)	証券化規定の対象	市場リスク枠組みの対象(1)	資本要件の対象でないか資本からの控除の対象
（単位：百万ユーロ）							
負債							

＜中略＞

顧客に対する債務	408,901	409,704	-	565	-	-	409,140

＜中略＞

5　自己資本

5.1　自己資本の構成（EU CC1）

＜中略＞

Tier 2資本

＜中略＞

表12：財政状態計算書に対する規制上の自己資本の調整（EU CC2）

＜中略＞

（単位：百万ユーロ）	CET1	AT1	T2
控除及び調整項目の詳細	**-224**	**-**	**-323**
（－）任意で1.250%で加重される証券化ポジション	-12	-	-
（－）機関が重要な投資を行っていない関連事業体の証券＊	-	-	-
（－）期間が重要な投資を行っている関連事業体の証券＊	-	-	-500
資本水準による過剰控除	-	-	-
内部格付手法の使用時に引当金と予想損失に生じるマイナスの差	-259	-	-
内部格付手法の使用時に引当金と予想損失に生じるプラスの差	-		610
信用リスク調整－標準的手法	-	-	-
調整項目：キャッシュ・フロー・ヘッジに対する余剰金	-	-	-
調整項目：保守的評価の要件による調整	-65	-	-
調整項目：デリバティブ負債証券に対する自己の信用リスクに起因する合弁会社の利益又は損失	-2	-	-
その他	113	-	-433

アスタリスク（＊）は経過措置の適用を表している。

＜中略＞

6　健全性測定基準

6.1　支払能力比率（EU CC1）

＜中略＞

表16：カウンターシクリカル資本バッファーの計算を目的とした、関連する信用エクスポージャーの地域別内訳（EU CCY-B1）

＜中略＞

	2019年12月											
	一般的な信用エクスポージャー		トレーディング勘定エクスポージャー		証券化エクスポージャー		自己資本要件					
（単位：百万ユーロ）	標準的手法使用時にリスクにさらされる金額	内部的手法使用時にリスクにさらされる金額	トレーディング勘定のショート・ポジションとロング・ポジションの合計	内部モデル手法使用時のトレーディング勘定	標準的手法使用時にリスクにさらされる金額	内部的手法使用時にリスクにさらされる金額	うち一般的な信用エクスポージャー	うちトレーディング勘定エクスポージャー	うち証券化エクスポージャー	合計	自己資本要件の加重	カウンターシクリカル資本バッファー
＜中略＞												
リトアニア	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00%	1.00%
アイスランド	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.00%	1.75%

＜中略＞

8　信用リスク

＜中略＞

8.2　エクスポージャー

＜中略＞

次へ

表25：業界又はカウンターパーティーの種類別エクスポージャーの集中（EU CRB-D）

＜中略＞

業種又は取引相手別 エクスポージャー純額 （単位：百万ユーロ） 2020年12月31日現在	行政	銀行及び金融機関	リテール顧客	個人事業主	農業	非営利団体	旅行及びレジャー事業	化学	物流	自動車	建設及び建材	製造及びサービス業	ヘルスケア	その他の金融活動	運輸	家庭用品	不動産開発	その他の不動産（リース及び再投資を含む）	公共事業	食料・飲料	メディア	持株会社及び混合型企業	ハイテク	石油及びガス商品	通信	その他のグループ子会社(1)	その他	株式	その他の資産	合計
＜中略＞																														
リテール顧客	-	-	229,226	17,288	6,846	700	3,060	58	5,428	1,022	4,093	2,918	548	2,293	1,446	427	-	2,449	294	725	348	990	371	106	31	-	7,758	-	-	288,428
＜中略＞																														

＜中略＞

8.3　資産の信用度(EU CRB-A)

＜中略＞

8.3.4　健康危機の状況において法的支払猶予の対象となるエクスポージャー

＜中略＞

表29：法的支払猶予及び非法的支払猶予の対象となる貸出金及び前渡金の残存満期別の金額

（単位：百万ユーロ） 2020年12月31日現在	債務者の数	簿価総額			支払猶予の残存満期				
			うち：立法府による支払猶予の対象	うち：支払猶予が終了したもの	3ヶ月以内	3ヶ月超6ヶ月以内	6ヶ月超9ヶ月以内	9ヶ月超12ヶ月以内	1年超
＜中略＞									
うち：非金融企業	-	55,384	45	54,888	493	2	-	-	-
うち：中小企業	-	*49,124*	*45*	*48,644*	*478*	*2*	-	-	-
うち：商業用不動産に担保された貸出金	-	*1,027*	-	*1,027*	-	-	-	-	-
＜中略＞									

次へ

8.3.5 条件変更されたエクスポージャー

＜中略＞

表30：エクスポージャーのカテゴリー別及び金融商品別のエクスポージャーの信用度（EU CR1-A）

（単位：百万ユーロ） 2020年12月31日現在	総エクスポージャー 稼働エクスポージャー	総エクスポージャー 不良エクスポージャー	特定の引当金	集合的引当金	純額
＜中略＞					
稼働エクスポージャー	-	5,801	3,134	-	2,667
＜中略＞					

＜中略＞

表32：地域別のエクスポージャーの信用度（EU CR1-C）

＜中略＞

（単位：百万ユーロ） 2019年12月31日現在	総エクスポージャー 稼働エクスポージャー	総エクスポージャー 不良エクスポージャー	特定の引当金	集合的引当金	純額
＜中略＞					
合計	**662,006**		**8,844**	**-**	**665,473**

表33：期限到来済エクスポージャーの経過期間（EU CR1-D）

（単位：百万ユーロ） 2020年12月31日現在	簿価総額 正常貸出金 期限を超過していないもの又は超過が30日以内もの	簿価総額 正常貸出金 超過が30日超90日以内のもの	簿価総額 正常貸出金 期限を超過している可能性のあるもの又は超過が90日以内のもの	簿価総額 不良債権 超過が90日超180日以内のもの	簿価総額 不良債権 超過が180日超1年以内のもの	簿価総額 不良債権 超過が1年超5年以内のもの	簿価総額 不良債権 超過が5年超のもの
貸出金	570,332	1,444	3,064	700	1,056	5,874	1,896
負債証券	36,609	-	206	-	-	-	-
合計	**606,942**	**1,444**	**3,270**	**700**	**1,056**	**5,874**	**1,896**

（単位：百万ユーロ） 2019年12月31日現在	簿価総額 正常貸出金 期限を超過していないもの又は超過が30日以内もの	簿価総額 正常貸出金 超過が30日超90日以内のもの	簿価総額 正常貸出金 期限を超過している可能性のあるもの又は超過が90日以内のもの	簿価総額 不良債権 超過が90日超180日以内のもの	簿価総額 不良債権 超過が180日超1年以内のもの	簿価総額 不良債権 超過が1年超5年以内のもの	簿価総額 不良債権 超過が5年超のもの
貸出金	491,332	1,035	2,799	405	644	7,911	404
負債証券	38,388	-	48	-	-	136	-
合計	**529,720**	**1,035**	**2,847**	**405**	**644**	**8,047**	**404**

＜中略＞

次へ

表35：放棄されたエクスポージャーの信用度（EU テンプレート１）

	再構築されたエクスポージャーの簿価／額面価格合計				信用リスクに関連する減損合計及び公正価値のマイナスの変動		再構築されたエクスポージャーに係る受領した担保及び保証	
		不良債権						
（単位：百万ユーロ） 2020年12月31日現在	正常貸出金		うち債務不履行となったもの	減損されたもの	再構築された正常貸出金	再構築された不良債権		うち再構築されたエクスポージャーにかかる受領した担保及び保証

＜中略＞

表36：超過期限別の稼働エクスポージャー及び不良エクスポージャーの信用度（EU テンプレート３）
簿価／額面価格

	簿価／額面価格								
	正常貸出金			不良債権					
（単位：百万ユーロ） 2020年12月31日現在		期限を超過していないもの又は超過が30日以内もの	超過が30日超90日以内のもの		期限を超過している可能性のあるもの又は超過が90日以内のもの	超過が90日超180日以内のもの	超過が180日超１年以内のもの	超過が１年超のもの	うち債務不履行となったもの

＜中略＞

その他の金融機関	10,887	10,878	9	217	29	8	7	172	217

＜中略＞

表37：稼働及び不良エクスポージャー並びに関連する引当金（EUテンプレート４）

	簿価／額面価格合計						信用リスクによる減損合計及び公正価値のマイナスの変動							受領した担保及び保証	
		正常貸出金			不良債権			正常貸出金に係る減損合計及び公正価値の調整			不良債権に係る減損合計及び公正価値の調整				
（単位：百万ユーロ） 2019年12月31日現在		うちステージ１	うちステージ２		うちステージ２	うちステージ３		うちステージ１	うちステージ２		うちステージ２	うちステージ３	累積戻入（一部）	正常貸出金	不良債権

＜中略＞

信用機関	31,223	30,974	249	43	-	43	-2	-2	0	-21	-	-21	-	176	4

＜中略＞

8.6 内部格付システム

＜中略＞

8.6.2 モデルのマッピング

＜中略＞

表41：内部格付手法－エクスポージャー種別及びPD範囲別信用リスク・エクスポージャー（EU CR6）

＜中略＞

(単位：百万ユーロ) 2020年12月31日現在	デフォルト確率（PD）の範囲	財政状態計算書上の当初総エクスポージャー	CCF適用前のオフ・バランスシート上のエクスポージャー	平均CCF (%)	EAD	平均PD (%)	債務者の数	デフォルト時損失発生率 (LGD) (%)	平均残存期間（年）	RWA	RWAの密度 (%)	EL	適格引当金
うちその他のリテール顧客													
					＜中略＞								
	0.50以上0.75未満	9,062	1,793	41	7,908	0.62	469,521	18	-	1,034	13	9	9
					＜中略＞								

2019年12月31日現在 (単位：百万ユーロ)	デフォルト確率（PD）の範囲	財政状態計算書上の当初総エクスポージャー	CCF適用前のオフ・バランスシート上のエクスポージャー	平均CCF (%)	EAD	平均PD (%)	債務者の数	デフォルト時損失発生率 (LGD) (%)	平均残存期間（年）	RWA	RWAの密度 (%)	EL	適格引当金
					＜中略＞								
機関（銀行）													
	0以上0.15未満	26,391	2,268	32	27,053	0.04	185	34	2.5	3,661	14	3	5
	0.15以上0.25未満	172	313	63	379	0.23	44	39	2.5	231	61	-	-
					＜中略＞								

(単位：百万ユーロ) 2019年12月31日現在	デフォルト確率（PD）の範囲	財政状態計算書上の当初総エクスポージャー	CCF適用前のオフ・バランスシート上のエクスポージャー	平均CCF (%)	EAD	平均PD (%)	債務者の数	デフォルト時損失発生率 (LGD) (%)	平均残存期間（年）	RWA	RWAの密度 (%)	EL	適格引当金
不動産抵当により担保されたエクスポージャー													
	0以上0.15未満	48,532	1,369	41	49,092	0.07	376,778	14	-	1,237	3	5	4
	0.15以上0.25未満	19,448	518	41	19,660	0.19	142,919	14	-	1,112	6	5	4
	0.25以上0.50未満	27,785	640	41	28,048	0.37	193,525	15	-	2,604	9	15	10
	0.50以上0.75未満	7,163	184	42	7,240	0.58	36,327	17	-	968	13	7	5
	0.75以上2.50未満	19,986	620	41	20,243	1.32	145,776	15	-	4,371	22	39	44
	2.50以上10.00未満	11,121	283	42	11,241	4.74	71,817	15	-	5,201	46	79	145
	10.00以上100.00未満	3,723	52	42	3,745	19.69	25,485	15	-	3,000	80	110	167
	100（デフォルト）	2,230	8	41	2,234	100.00	19,681	46	-	747	33	965	742
	小計	**139,990**	**3,675**	**41**	**141,503**	**2.82**	**1,012,308**	**15**	**-**	**19,240**	**14**	**1,226**	**1,121**
うち中小企業													
	0以上0.15未満	0	0	0	0	0.00	0	-	-	-	-	-	-
	0.15以上0.25未満	1,380	37	42	1,395	0.16	10,377	15	-	61	4	0	0
	0.25以上0.50未満	6,310	131	42	6,365	0.36	36,576	17	-	539	8	4	1
	0.50以上0.75未満	4,576	116	42	4,626	0.58	22,779	17	-	577	12	5	3
	0.75以上2.50未満	4,387	157	42	4,453	1.57	22,999	17	-	1,032	23	12	11
	2.50以上10.00未満	3,271	121	43	3,323	4.86	17,174	17	-	1,487	45	27	37
	10.00以上100.00未満	1,354	24	42	1,365	19.19	8,081	16	-	994	73	43	65
	100（デフォルト）	578	1	42	578	100.00	4,261	48	-	240	41	260	195
	小計	**21,857**	**587**	**42**	**22,105**	**5.08**	**122,247**	**17**	**-**	**4,929**	**22**	**350**	**313**
うち非中小企業													
	0以上0.15未満	48,532	1,369	41	49,092	0.07	376,778	14	-	1,237	3	5	4
	0.15以上0.25未満	18,069	481	41	18,266	0.20	132,542	14	-	1,052	6	5	4
	0.25以上0.50未満	21,475	509	41	21,683	0.37	156,949	14	-	2,065	10	11	9
	0.50以上0.75未満	2,586	68	42	2,615	0.57	13,548	16	-	391	15	2	2
	0.75以上2.50未満	15,599	463	41	15,790	1.24	122,777	14	-	3,340	21	27	33
	2.50以上10.00未満	7,850	162	41	7,917	4.68	54,643	14	-	3,714	47	52	107
	10.00以上100.00未満	2,369	28	41	2,381	19.98	17,404	14	-	2,005	84	67	102
	100（デフォルト）	1,652	7	41	1,655	100.00	15,420	45	-	507	31	706	547

	小計	**118,133**	**3,088**	**41**	**119,398**	**2.40**	**890,061**	**14**	**-**	**14,311**	**12**	**875**	**807**
うちリボルビング													
	0以上0.15未満	2,343	5,708	20	3,491	0.08	529,740	30	-	56	2	1	1
	0.15以上0.25未満	1,116	1,616	20	1,441	0.21	196,809	30	-	52	4	1	1
	0.25以上0.50未満	528	594	20	647	0.38	76,376	30	-	38	6	1	1
	0.50以上0.75未満	785	881	20	962	0.51	152,567	30	-	71	7	1	1
	0.75以上2.50未満	1,491	1,198	20	1,732	1.50	276,869	30	-	287	17	8	6
	2.50以上10.00未満	781	400	20	861	5.29	144,909	30	-	344	40	14	10
	10.00以上100.00未満	213	55	20	224	19.75	44,288	30	-	189	84	13	10
	100（デフォルト）	130	6	20	132	100.00	22,581	56	-	30	23	71	94
	小計	**7,388**	**10,457**	**20**	**9,489**	**2.75**	**1,444,139**	**31**	**-**	**1,066**	**11**	**110**	**123**

（単位：百万ユーロ） 2019年12月31日現在	デフォルト確率（PD）の範囲	財政状態計算書上の当初総エクスポージャー	CCF適用前のオフ・バランスシート上のエクスポージャー	平均CCF（%）	EAD	平均PD（%）	債務者の数	デフォルト時損失発生率（LGD）（%）	平均残存期間（年）	RWA	RWAの密度（%）	EL	適格引当金
うちその他のリテール顧客													
	0以上0.15未満	35,639	4,211	52	37,820	0.06	1,686,777	13	-	922	2	3	2
	0.15以上0.25未満	11,204	2,017	48	12,178	0.20	666,812	15	-	727	6	4	3
	0.25以上0.50未満	10,859	1,661	40	11,520	0.36	261,710	15	-	990	9	6	4
	0.50以上0.75未満	6,227	1,742	40	6,921	0.61	430,971	18	-	909	13	8	5
	0.75以上2.50未満	11,749	3,820	43	13,409	1.49	863,755	16	-	2,387	18	33	33
	2.50以上10.00未満	8,301	2,092	44	9,214	5.28	509,622	18	-	2,256	24	89	123
	10.00以上100.00未満	2,091	265	42	2,202	21.71	176,806	18	-	818	37	87	98
	100（デフォルト）	2,326	104	86	2,415	100.00	116,978	59	-	972	40	1,339	1,457
	小計	**88,396**	**15,911**	**46**	**95,678**	**3.88**	**4,713,431**	**16**	**-**	**9,980**	**10**	**1,569**	**1,725**
中小企業													
	0以上0.15未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	0.15以上0.25未満	2,354	527	38	2,551	0.20	63,204	18	-	160	6	1	1
	0.25以上0.50未満	3,384	882	32	3,663	0.33	68,358	18	-	304	8	2	1
	0.50以上0.75未満	4,646	1,186	32	5,027	0.63	71,483	19	-	646	13	6	4
	0.75以上2.50未満	5,743	1,385	34	6,220	1.62	104,927	19	-	1,168	19	19	15
	2.50以上10.00未満	5,768	1,223	37	6,218	5.49	117,196	19	-	1,470	24	64	60
	10.00以上100.00未満	1,445	198	36	1,517	22.44	50,870	19	-	541	36	64	71
	100（デフォルト）	1,582	91	89	1,664	100.00	39,736	60	-	771	46	934	1,005
	小計	**24,922**	**5,492**	**35**	**26,860**	**9.29**	**515,774**	**21**	**-**	**5,061**	**19**	**1,090**	**1,157**
うち非中小企業													
	0以上0.15未満	35,639	4,211	52	37,820	0.06	1,686,777	13	-	922	2	3	2
	0.15以上0.25未満	8,851	1,490	52	9,626	0.20	603,608	14	-	566	6	3	2
	0.25以上0.50未満	7,475	779	49	7,856	0.37	193,352	13	-	686	9	4	3
	0.50以上0.75未満	1,581	556	56	1,894	0.54	359,488	17	-	262	14	2	1
	0.75以上2.50未満	6,006	2,435	49	7,189	1.37	758,828	14	-	1,219	17	14	18

2.50以上10.00未満	2,534	869	53	2,996	4.84	392,426	17	-	786	26	25	63
10.00以上100.00未満	646	66	59	685	20.09	125,936	17	-	277	40	23	27
100（デフォルト）	744	12	63	752	100.00	77,242	56	-	201	27	405	452
小計	**63,475**	**10,419**	**51**	**68,818**	**1.77**	**4,197,657**	**14**	**-**	**4,919**	**7**	**479**	**568**

＜中略＞

次へ

8.6.5　追加の定量的情報

＜中略＞

表44：内部格付－特定貸付債権及び株主資本（EU CR10）

＜中略＞

カテゴリー	エクスポージャー額	リスク加重	RWA	資本要件
＜中略＞				
その他の株式に対するエクスポージャー(1)	10,118	370%	37,437	2,995
＜中略＞				

9　カウンターパーティー・リスク

CCRに関する定性的情報の報告要件（EU CCRA）

＜中略＞

表45：手法別のCCRエクスポージャー分析（EU CCR1）

＜中略＞

（単位:百万ユーロ） 2019年12月31日現在	額面価格	再調達コスト／時価	将来発生し得る信用エクスポージャー	実質期待ポジティブ・エクスポージャー	乗数	EAD（ポストCRMリスクにさらされる価値）	RWA
＜中略＞							
合計	-	-	-	-	-		**1,860**

表46：CVAの必要資本（EU CCR2）

（単位:百万ユーロ） 2020年12月31日現在	エクスポージャー額	RWA
先進的CVA要件によるポートフォリオ合計	-	-
ⅰ)VaRの要素（３倍乗数を含む。）	-	-
ⅱ）ストレス下におけるSVaRの要素（３倍乗数を含む。）	-	-
標準的CVA要件によるポートフォリオ合計	1,549	501
原エクスポージャーに基づく方法の合計	-	-
信用評価調整（CVA）資本コストに基づく合計	1,549	501

（単位:百万ユーロ） 2019年12月31日現在	エクスポージャー額	RWA
先進的CVA要件によるポートフォリオ合計	-	-
ⅰ)VaRの要素（３倍乗数を含む。）	-	-
ⅱ）ストレス下におけるSVaRの要素（３倍乗数を含む。）	-	-
標準的CVA要件によるポートフォリオ合計	1,777	582
原エクスポージャーに基づく方法の合計	-	-
CVA資本コストに基づく合計	1,777	582

＜中略＞

次へ

表48：内部格付手法－ポートフォリオ及びPD範囲別のCCRエクスポージャー（EU CCR4）

（単位：百万ユーロ） 2020年12月31日現在	デフォルト確率（PD）の範囲	EAD	平均PD	債務者の数	平均LGD	満期の平均	RWA	RWAの密度
機関（銀行）								
			＜中略＞					
	0.25以上0.50未満	234	0.44	10	6	1.6	10	4
			＜中略＞					
企業								
	0以上0.15未満	2,982	0.04	120	10	2.4	132	4
	0.15以上0.25未満	-	-	-	-	-	-	-
			＜中略＞					

次へ

表51：セントラル・カウンターパーティーへのエクスポージャー（EU CCR8）

（単位：百万ユーロ） 2020年12月31日現在	CRM後のEAD	RWA
＜中略＞		
非QCCPに対する取引エクスポージャー（当初マージン及びデフォルト・ファンドの拠出金を除く。）	-	-
＜中略＞		

（単位：百万ユーロ） 2019年12月31日現在	CRM後のEAD	RWA
＜中略＞		
非QCCPに対する取引エクスポージャー（当初マージン及びデフォルト・ファンドの拠出金を除く。）	-	-
＜中略＞		

10　信用リスクの緩和手法（EU CRC）

＜中略＞

10.4　保護提供者の主要なカテゴリー

＜中略＞

表52：信用リスク緩和（CRM）－概要（EU CR3）

（単位：百万ユーロ） 2020年12月31日現在	無担保エクスポージャー－簿価	担保付エクスポージャー－簿価(1)	担保で保全されたエクスポージャー(2)	金融保証で保全されたエクスポージャー	クレジット・デリバティブに保全されたエクスポージャー
＜中略＞					

11　証券化（EU SECA）

＜中略＞

11.7　証券化商品の種類別のエクスポージャー

＜中略＞

表59：規則（EU）2017/2401が適用される、信用度の段階別の残高内訳（EU SEC3）

信用度 *（EAD、単位：百万ユーロ）*	2019年12月31日現在	
	バンキング勘定	トレーディング勘定
	外部格付手法	
＜中略＞		
E14	-	-
＜中略＞		

12　資本市場リスク（EU MRA）

12.1　一般構造

＜中略＞

グループ財務

この事業分野は、３つのチームで組織されており、そのうちの１つが、現金及び流動性の管理を専門としている。このチームは、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの全リファイナンス活動を集中化し、流動性資産の規制管理を徹底している。当チームは、パリ、ロンドン並びに米国（US 144Aフォーマット）、アジア（サムライ債）及びオーストラリア（カンガルー債）におけるその投資家基盤並びにクレディ・ミュチュエル－CIC住宅貸出金SFHを含むリファイナンスツールの多角化を模索している。２つ目のチームは担保管理及び監視を専門としており、３つ目のチームは、銀行の決済業務（決済業務の様々なリスクは事業分野リスクに統合される。）を専門としている。

＜中略＞

12.2　内部統制制度

＜中略＞

毎月会議を行う市場リスク委員会及び四半期ごとに会議を行うグループ財務リスク委員会は、CIC及びBFCMの取締役会が定める制限内で、（フランス及び支店の）CM－CIC・マルシェ及びグループ財務の戦略、業績及びリスクを監視している。

＜中略＞

13.　資産負債管理（ALM）リスク

＜中略＞

13.2　金利リスク管理（EU IRRBBA）

＜中略＞

13.2.2　測定及び監視システム並びにヘッジ手続

＜中略＞

－　BFCMグループについては、感応度は１年間では－147.2百万ユーロ（NBIに占める割合で－1.62%）、２年間では－157.9百万ユーロ（NBIに占める割合で－1.74%）であった。

＜中略＞

13.3　流動性リスク管理（EU LIQA&EU LIQ1）

＜中略＞

13.3.5　規制上の指標及び流動性準備金

＜中略＞

表66：クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの連結財政状態計算書における契約上の将来キャッシュ・フローの残存満期別内訳（元本及び利息）

	契約上の残存満期							
（単位：百万ユーロ） 2020年12月31日現在	1ヶ月以内(1)	1ヶ月超3ヶ月以内	3ヶ月超1年以内	1年超2年以内	2年超5年以内	5年超	無期限(2)	合計

＜中略＞

うち劣後債	*0*	*0*	*0*	*0*	*2,028*	*4,252*	*1,024*	*7,304*

＜中略＞

18　報酬（EU REMA）

18.1　報酬監督機関

＜中略＞

－　クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの連結グループの親会社としてのCFCM（CIB 10278）により連結されているクレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラル事業体（規模、内部組織並びに業務の性質、規模、複雑性及びクロスボーダー性により、取締役会の判断により連結範囲に該当する事業体）

＜後略＞

② 社会的及び相互的責任

＜訂正前＞

1 はじめに

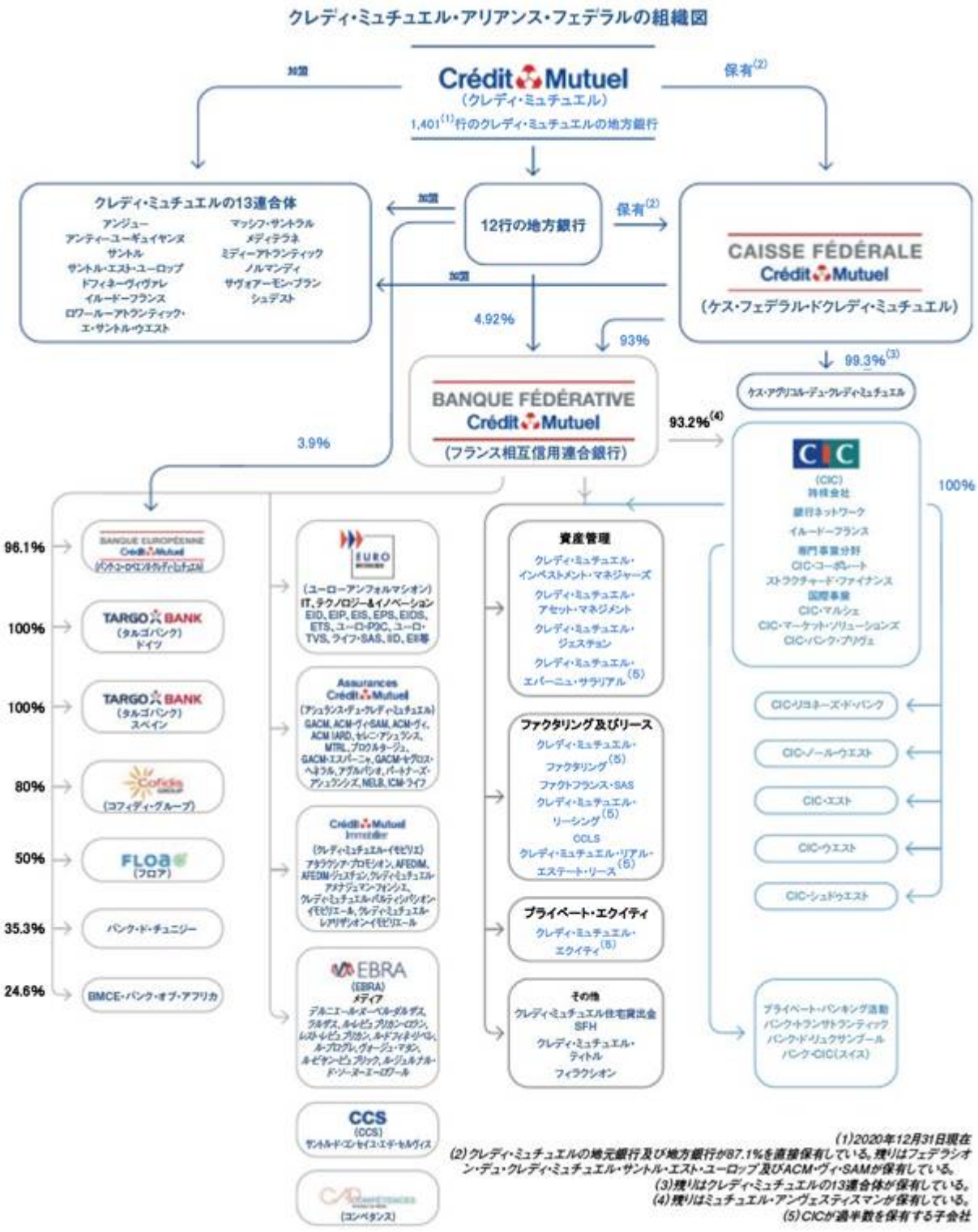
フランス商法第L.225-102-1条に基づき、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルは、2020年度に関し、法律及び規制上の要件に従って、ビジネスモデル、主要な非財務的リスク、これらのリスクに適用される方針及びかかる方針の結果に関する説明を含む、非財務実績に係る連結報告書を作成する責任がある。

＜中略＞

1.1 範囲、ビジネスモデル及び注意義務計画に関する説明

1.1.1 クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの範囲

＜中略＞



＜中略＞

1.2 クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの戦略的方針及びSMRの位置付け

＜中略＞

1.2.2　　５つの目標に基づく体系化されたSMR方針

＜中略＞

ガバナンス目標

1.2.2.2　ガバナンス機関の有効性

＜中略＞

選任された従業員のための研修コースと支援

＜中略＞

定量的データ

コード	指標名	2020年度末データ	2019年度末データ
GOUV63	構成員の総数	**5,052,180**	4,780,287
GOUV62	（成人個人顧客及び法人顧客数数	**6,505,017**	6,193,315
GOUV65	成人個人顧客及び法人顧客のうち構成員の割合	**77.66%**	77.18%

＜中略＞

社会目標

1.2.2.4　社会目標

＜中略＞

雇用

従業員数合計

2020年度末のクレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの従業員数は、フランスに勤務する従業員55,000名超を含めて、72,437(1)名であった。

雇用

無期契約（CDI）での新規採用者は、主に、クレディ・ミュチュエル及びCICのネットワークによるものであった。2020年度に、人事部は、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの求人、事業分野、従業員の声、人事のコミットメントを紹介するために、新たな２つの採用専用ウェブサイトを立ち上げた。さらに、雇用主ブランドのコミュニケーション・キャンペーンは、事業年度全体で採用プロセスを支援する。

2017年以降、グループでは定期的に新機能により改良がなされるHRツールであるタレントソフト（Talentsoft）を使用している。この最新かつインタラクティブなツールは、対話や議論を促し、いつでも異動の希望を表明し、評価面接の準備を行う機会を従業員に提供する。

企業内及び企業間異動の際に従業員により多くの支援を行うため、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの人事部は、ミュテ－ロジェ（MUTER-LOGER）及びCSE・エグゼクティブ・リロケーションズ（CSE Executive Relocations）と２つの枠組協定を締結した。雇用者及び従業員のいずれも、これら２社のいずれかのサービスを利用するよう義務付けられるものではないが、いずれも専門業者であり、職務異動の支援サービスについて経験、広く認められている能力及びノウハウを有している。

(1)　人事部が管理する事業体は、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの連結及び非連結の事業体を含む。

＜中略＞

1.3　クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルのセクター別方針

＜中略＞

石炭に関するセクター別方針

＜中略＞

2.　絶対的な基準

- 年間の石炭生産量が10百万トン未満であること
- 石炭に基づく設備能力が５ギガワットを未満であること

3.　相対的な適用基準

- 収益における石炭の割合が20%を未満であること
- エネルギーミックスにおける石炭の割合が20%を未満であること

＜中略＞

４　テクノロジー部門のCSR

＜中略＞

4.2　テクノロジー部門（ユーロ－アンフォルマシオン（EI））に関する特定の報告

＜中略＞

4.2.1　シナリオごとの対策

＜中略＞

EISでのエコドライブ

2012年以降、EISは、エコドライブを推進するための特別な仕組みを実施している。このプロセスは2020年も続けられ、以下の対策が報告された。

・　エコドライブ研修：COVID-19のパンデミックにより研修が2021年に延期になり開催されなかった。

＜後略＞

＜訂正後＞

1　はじめに

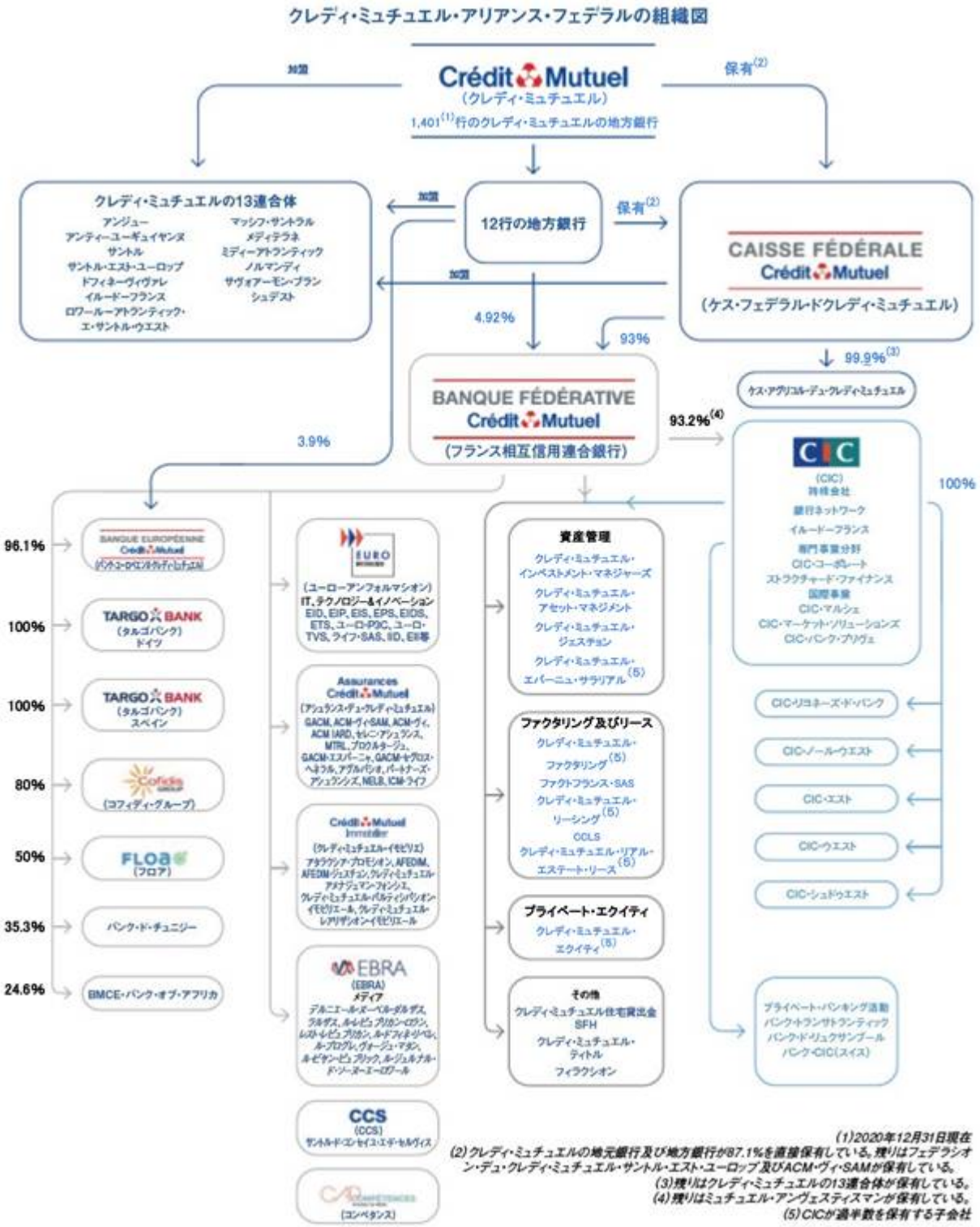
フランス商法第L.225-102-1条に基づき、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルは、2020事業年度に関し、法律及び規制上の要件に従って、ビジネスモデル、主要な非財務的リスク、これらのリスクに適用される方針及びかかる方針の結果に関する説明を含む、非財務実績に係る連結報告書を作成する責任がある。

＜中略＞

1.1　範囲、ビジネスモデル及び注意義務計画に関する説明

1.1.1　クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの範囲

＜中略＞



＜中略＞

1.2　クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの戦略的方針及びSMRの位置付け

＜中略＞

1.2.2　　5つの目標に基づく体系化されたSMR方針

＜中略＞

ガバナンス目標

1.2.2.2　ガバナンス機関の有効性

＜中略＞

選任された従業員のための研修コースと支援

＜中略＞

定量的データ

コード	指標名	2020年度末データ	2019年度末データ
GOUV63	構成員の総数	**5,052,180**	4,780,287
GOUV62	成人個人顧客数及び法人顧客数	**6,505,017**	6,193,315

GOUV65	成人個人顧客及び法人顧客のうち構成員の割合	**77.66%**	77.18%

＜中略＞

社会目標

1.2.2.4　社会目標

＜中略＞

雇用

従業員数合計

2020年度末のクレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの従業員数は、フランスに勤務する従業員55,000名超を含めて、72,437(1)名であった。

(1)　人事部が管理する事業体は、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの連結及び非連結の事業体を含む。

雇用

無期契約（CDI）での新規採用者は、主に、クレディ・ミュチュエル及びCICのネットワークによるものであった。2020年度に、人事部は、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの求人、事業分野、従業員の声、人事のコミットメントを紹介するために、新たな２つの採用専用ウェブサイトを立ち上げた。さらに、雇用主ブランドのコミュニケーション・キャンペーンは、事業年度全体で採用プロセスを支援する。

2017年以降、グループでは定期的に新機能により改良がなされるHRツールであるタレントソフト（Talentsoft）を使用している。この最新かつインタラクティブなツールは、対話や議論を促し、いつでも異動の希望を表明し、評価面接の準備を行う機会を従業員に提供する。

企業内及び企業間異動の際に従業員により多くの支援を行うため、クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルの人事部は、ミュテ－ロジェ（MUTER-LOGER）及びCSE・エグゼクティブ・リロケーションズ（CSE Executive Relocations）と２つの枠組協定を締結した。雇用者及び従業員のいずれも、これら２社のいずれかのサービスを利用するよう義務付けられるものではないが、いずれも専門業者であり、職務異動の支援サービスについて経験、広く認められている能力及びノウハウを有している。

＜中略＞

1.3　クレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルのセクター別方針

＜中略＞

石炭に関するセクター別方針

＜中略＞

2.　絶対的な基準

・　年間の石炭生産量が10百万トン未満であること
・　石炭に基づく設備能力が５ギガワット未満であること

3.　相対的な適用基準

・　収益における石炭の割合が20%未満であること
・　エネルギーミックスにおける石炭の割合が20%未満であること

＜中略＞

４　テクノロジー部門のCSR

＜中略＞

4.2　テクノロジー部門（ユーロ－アンフォルマシオン（EI））に関する特定の報告

＜中略＞

4.2.1　シナリオごとの対策

＜中略＞

EISでのエコドライブ

2012年以降、EISは、エコドライブを推進するための特別な仕組みを実施している。このプロセスは2020年も続けられ、以下の対策が報告された。

・　エコドライブ研修：COVID-19のパンデミックにより研修が2021年に延期になり2020年には開催されなかった。

＜後略＞

（２）【役員の状況】

＜訂正前＞

取締役会の構成の概要

2021年６月１日現在

男性の人数	女性の人数	女性の比率
15名	1名	6％

2021年６月１日現在

取締役の氏名	役職名	ＢＦＣＭでの勤務開始日	現在の任期の就任日	現在の任期の満了日	所有株式の種類及びその数
ニコラ・テリ（Nicolas Théry）	取締役会会長	2014年11月14日	2017年5月3日	2022年12月31日に終了する会計期間に係る財務書類を承認する株主総会まで	0
ミシェル・ヴュ（Michel Vieux）	取締役副会長	2011年5月11日	2017年5月3日	2023年12月31日	0
ジェラール・コルモレシュ（Gérard Cormorèche）	取締役	2001年5月16日	2016年5月11日	2022年12月31日	0
クロード・クルトワ（Claude Courtois）	取締役	2019年4月9日	2019年4月9日	2022年12月31日	0
フィリップ・ガイエンヌ（Philippe Gallienne）	取締役	2019年5月10日	2019年5月10日	2022年12月31日	0
シャルル・ゲルベル（Charles Gerber）	取締役	2020年5月6日	2020年5月6日	2023年12月31日	0
オリヴィエ・ギオ（Olivier Guiot）	取締役	2020年5月6日	2020年5月6日	2023年12月31日	0
エリオ・グム（Elio Gumbs）	取締役	2020年5月6日	2020年5月6日	2021年12月31日	0
ニコラ・アベール（Nicolas Habert）	取締役	2020年4月2日	2020年4月2日	2021年12月31日	0
アルベール・マイヤー（Albert Mayer）	取締役	2019年5月10日	2019年5月10日	2021年12月31日	0
ギスレーヌ・ラヴァネル（Gislhaine Ravanel）	取締役	2019年5月10日	2019年5月10日	2022年12月31日	0
レネ・シュヴァルツ（René Schwartz）	取締役	2019年5月10日	2019年5月10日	2021年12月31日	0
フランシス・シングラー（Francis Singler）	取締役	2019年5月10日	2019年5月10日	2021年12月31日	0
アラン・テトゥドワ（Alain Têtedoie）	取締役	2006年10月27日	2018年5月4日	2021年6月30日	0
ドミニク・トリンケ（Dominique Trinquet）	取締役	2019年4月9日	2019年4月9日	2022年12月31日	0
CFCM・メーヌ・アンジュー・エ・バス・ノルマンディ（CFCM Maine Anjou et Basse Normandie）（常任代表：ジャン－マーク・ビュスネル（Jean-Marc Busnel））	取締役	2008年7月4日	2018年5月4日	2021年6月30日	0
執行役員					
ダニエル・バール（Daniel Baal）	最高経営責任者 兼 執行役員	2017年6月1日	2017年6月1日	2023年12月31日	0
アレクサンドル・サーダ（Alexandre Saada）	副最高執行責任者 兼 執行役員	2018年6月1日	2017年6月1日	2021年12月31日	0

議決権のない取締役

ミシェル・アンドルゼウスキー（Michel Andrzjewski）

ジャン・ルイ・バズィーユ（Jean Louis Bazille）
パスカル・ダヴィド（Pascal David）
ジャン－クロード・ロルデロ（Jean-Claude Lordelot）
クリスチャン・ミュラー（Christian Muller）
ジャック・シモン（Jacques Simon）
フィリップ・タフロー（Philippe Tuffreau）

＜中略＞

役員の役職及び機能

ニコラ・テリ
（Nicolas Théry）

55歳 1965年12月22日生まれ	**主な専門分野及び経歴の概要** ニコラ・テリ氏は、1989年に財務監督局でキャリアをスタートした後、1993年に財務総局に異動した。1997年から2000年にかけ経済財務省において金融及び財務、後に国際及び欧州に関するアドバイザーを務めた。2000年、予算担当大臣（フロランス・パルリ氏の民間事務所長）に就任した。2000年から2002年の間はCFDTの連邦長官を務め、経済問題を担当した。同氏は、従業員貯蓄制度の組合間委員会やニコル・ノタ氏が設立したヴィジオ格付機関の設立を支援した。2002年から2009年にかけて、通商担当のパスカル・ラミー氏の官房長として欧州委員会に勤務した後、企業総局に加わり、環境局長として気候変動に取り組んだ。2009年、銀行グループ内で様々なポジションを経験したのち、クレディ・ミュチュエルに入社した。2012年から2016年までCIC・エストの会長兼最高経営責任者を務めた。 2014年以降、同氏はCFCM、BFCM及びCICの会長を務めている。2016年以降は、コンフェデラシオン・ナシオナル・デュ・クレディ・ミュチュエル及びフェデラシオン・デュ・クレディ・ミュチュエル・サントル・エスト・ユーロップの会長を務めている。また、グループ・デ・ザシュランス・デュ・クレディ・ミュチュエルの監事会会長も務めている。 ニコラ・テリ氏は、パリ政治学院及びフランス国立行政学院（ENA）（「自由・平等・友愛」クラスの首席）の卒業生であり、ビジネス法を専門とする法律、経営学修士号を保有している。

取締役会会長
ケス・フェデラル・ド・クレディ・ミュチュエルのグループリスク監視委員会メンバー
就任：2014年
任期満了：2022年
2020年12月31日現在在任中のその他の役職
取締役会会長
コンフェデラシオン・ナシオナル・デュ・クレディ・ミュチュエル
ケス・サントラル・デュ・クレディ・ミュチュエル
フェデラシオン・デュ・クレディ・ミュチュエル・サントル・エスト・ユーロップ
ケス・フェデラル・ド・クレディ・ミュチュエル
クレディ・アンデュストリエル・エ・コメルシアル
バンク・CIC・エスト
バンク・CIC・ノール・ウエスト
アシュランス・デュ・クレディ・ミュチュエル・ヴィ・SA
アシュランス・デュ・クレディ・ミュチュエル・ヴィ・SAM
ACM・IARD・SA
監事会会長
グループ・デ・ザシュランス・デュ・クレディ・ミュチュエル
バンク・ユーロペエンヌ・デュ・クレディ・ミュチュエル
グループ・デ・ザシュランス・デュ・クレディ・ミュチュエルの常任代表及び取締役
ACM・GIE
フェデラシオン・デュ・クレディ・ミュチュエル・サントル・エスト・ユーロップの常任代表及び経営委員
ユーロ－アンフォルマシオン
取締役
ケス・ド・クレディ・ミュチュエル・ストラスブール・ヴォージュ
メンバー
ディフェンス・エシックス・コミッティー

過去５事業年度に任期が満了した役職
経営委員
ユーロ－アンフォルマシオン

最高経営責任者
バンク・CIC・エスト
執行委員会会長
グループ・デ・ザシュランス・デュ・クレディ・ミュチュエル
監事会監事
コフィディ
コフィディ・パルティシパシオン
最高経営責任者代理
ケス・フェデラル・ド・クレディ・ミュチュエル
バンク・フェデラティブ・デュ・クレディ・ミュチュエル
グループ・デ・ザシュランス・デュ・クレディ・ミュチュエル
取締役
タルゴバンク・スペイン
バンク・ピュブリック・ダンヴェスティスマン
BECMの常任代表及び取締役
フェデラシオン・デュ・クレディ・ミュチュエル・サントル・エスト・ユーロップ
GACMの常任代表及び取締役
ACM・IARD・SA

ミシェル・ヴュ
(Michel Vieux)

70歳 1951年４月12日生まれ	**主な専門分野及び経歴の概要** ミシェル・ヴュ氏は、グルノーブル第一大学の学士号（数学）を保有している。IEC・ド・グルノーブルの卒業生（経営科学の修士号）でもあり、高等研究のディプロマを保有。金融を副専攻とし、大学院の博士課程では調査研究を行った。 ミシェル・ヴュ氏は、フェデラシオン及びケス・レジオナル・ド・クレディ・ミュチュエル・ドフィネ・ヴィヴァレの会長である。職業キャリアの中で、同氏は経済・経営の教授、継続教育アドバイザー、財務分析のコンサルタント、研修組織のディレクターとしての職務を歴任している。 クレディ・ミュチュエルでは、1984年からさまざまな職務を経験しており、当初は地方および地域レベルで、その後2000年に連盟の取締役に任命された。

取締役会副会長 **ケス・フェデラル・ド・クレディ・ミュチュエルのグループリスク監視委員会アソシエイト・メンバー** **就任：2011年** **任期満了：2023年**
2020年12月31日現在在任中のその他の役職
取締役会会長
フェデラシオン・デュ・クレディ・ミュチュエル・ドフィネ―ヴィヴァレ
ケス・レジオナル・デュ・クレディ・ミュチュエル・ドフィネ―ヴィヴァレ
ケス・ド・クレディ・ミュチュエル・ド・ピエールラット
ケス・ド・クレディ・ミュチュエル・ド・ラ・ヴァレ・デュ・ローン
取締役
コンフェデラシオン・ナシオナル・デュ・クレディ・ミュチュエル
ケス・サントラル・デュ・クレディ・ミュチュエル
取締役（CRCM・ドフィネ―ヴィヴァレの代表として）
アシュランス・デュ・クレディ・ミュチュエル・ヴィ・SAM
取締役会の名誉会長
ケス・ド・クレディ・ミュチュエル・アグリクルチュール・ド・ヴァルレアス
議決権のない取締役
ケス・フェデラル・ド・クレディ・ミュチュエル

過去５事業年度に任期が満了した役職
監事会監事
バンク・ユーロペエンヌ・デュ・クレディ・ミュチュエル
取締役
ケス・フェデラル・ド・クレディ・ミュチュエル
議決権のない取締役
コンフェデラシオン・ナシオナル・デュ・クレディ・ミュチュエル
ケス・サントラル・デュ・クレディ・ミュチュエル
共同マネージング・パートナー

＜中略＞

ジャン－マーク・ビュスネル
（Jean-Marc Busnel）

＜中略＞

ケス・フェデラル・ド・クレディ・ミュチュエル・ド・メーヌ－アンジュー・エ・バス－ノルマンディの常任代表、取締役 **就任：2018年** **任期満了：2021年**

＜中略＞

クロード・クルトワ
（Claude Courtois）

＜中略＞

取締役 **就任：2019年** **任期満了：2022年**
2022年12月31日現在在任中のその他の役職

＜中略＞

シャルル・ゲルベル
(Charles Gerber)

67歳 1951年６月３日生まれ	**主な専門分野及び経歴の概要** シャルル・ゲルベル氏は、一般力学の職業適性証及びコミテ・ダクシオン・エコノミック・デュ・オーランから経営及び採用のディプロマを取得し、フランス軍の曹長としてキャリアをスタートさせた。その後、機械工学分野で10年間、製造現場マネージャーとして20年間、大量買付マネージャーとして10年間従事した後、2009年に定年退職した。 同氏は1991年、当初はクレディ・ミュチュエルの地元銀行の取締役会のメンバーに選任され、2012年に取締役会会長に選任された。

＜中略＞

エリオ・グム
(Elio Gumbs)

＜中略＞

取締役 **就任：2020年** **任期満了：2021年**

＜中略＞

ニコラ・アベール
(Nicolas Habert)

＜中略＞

取締役 **ケス・フェデラル・ド・クレディ・ミュチュエルのグループリスク監視委員会メンバー** **就任：2020年** **任期満了：2021年**

＜中略＞

アルベール・マイヤー
（Albert Mayer）

＜中略＞

取締役 **就任：2018年** **任期満了：2021年**
2020年12月31日現在在任中のその他の役職
取締役会会長
ケス・ド・クレディ・ミュチュエル・フレマン・オンブルゴ
サン・アヴォ地区の取締役及び会長
フェデラシオン・デュ・クレディ・ミュチュエル・サントル・エスト・ユーロップ
マネージング・パートナー
セコジェム・エクスペルティス・コンプタービル
ポール・デクスペルティス・コンプタービル

過去５事業年度に任期が満了した役職
会長
マイヤー・アルベール・エクスペルティス・エ・オーディット・コンプタービル

ギスレーヌ・ラヴァネル
(Gislhaine Ravanel)

68歳 1952年９月30日生まれ	**主な専門分野及び経歴の概要** エコール・ピジエ・ド・ニースの卒業生であるギスレーヌ・ラヴァネル氏は、ウッシュ市の市長である。同氏はシャモニー役場を経て2013年に定年退職するまでコミュノテ・ド・コミューン・ペイ・デュ・モン－ブランにおいて業務にあたっていた。 同氏は2008年以降クレディ・ミュチュエルの地元銀行の会長及びアルヴ／ジュヌヴォワ地区の会長を、2017年以降はフェデラシオン・デュ・クレディ・ミュチュエル・サヴォワ－モン・ブランの取締役も務めている。

取締役 **就任：2019年** **任期満了：2022年**
2020年12月31日現在在任中のその他の役職
取締役会会長
ケス・ド・クレディ・ミュチュエル・ド・シャモニー
取締役会のメンバー及びアルヴ／ジュヌヴォワ地区の会長
フェデラシオン・デュ・クレディ・ミュチュエル・サヴォワ－モン・ブラン
議決権のない取締役
ケス・フェデラル・ド・クレディ・ミュチュエル

過去５事業年度に任期が満了した役職
なし

レネ・シュヴァルツ
(René Schwartz)

＜中略＞

取締役 **ケス・フェデラル・ド・クレディ・ミュチュエルのグループ監査及び会計委員会アソシエイト・メンバー** **就任：2018年** **任期満了：2021年**

＜中略＞

フランシス・シングラー
(Francis Singler)

＜中略＞

取締役 **就任：2018年** **任期満了：2021年**

＜中略＞

アラン・テトゥドワ
(Alain Têtedoie)

67歳 1954年５月16日生まれ	**主な専門分野及び経歴の概要** 園芸学の学士であるアラン・テトゥドワ氏は農業分野の会長及びCEOである。1991年、同氏はクレディ・ミュチュエルの地元銀行の取締役に就任し、2006年以降はフェデラシオン及びケス・レジオナル・デュ・クレディ・ミュチュエル・ロワール－アトランティック・エ・サントル－ウエストの会長に、2004年以降は連盟の取締役にも就いている。

＜中略＞

取締役 **就任：2007年** **任期満了：2021年**

＜中略＞

ドミニク・トリンケ
(Dominique Trinquet)

70歳 1950年11月13日生まれ	**主な専門分野及び経歴の概要** 自動車専門家の国家ライセンスを保有しているドミニク・トリンケ氏は1986年よりTRINQUETにおいて独立した専門家として働いている。 2000年、同氏はクレディ・ミュチュエル・デュ・マントワの地元銀行の会長に選出された。2002年以降は、ケス・レジオナル・デュ・クレディ・ミュチュエル・イル－ド－フランスの取締役及び取締役会副会長を務めている。

取締役 **就任：2019年** **任期満了：2022年**
2020年12月31日現在在任中のその他の役職
取締役会会長
ケス・ド・クレディ・ミュチュエル・デュ・マントワ
取締役会副会長
ケス・レジオナル・デュ・クレディ・ミュチュエル・イル－ド－フランス
マネージング・パートナー
キャビネ・エクスペルティス・D. TRINQUET

過去５事業年度に任期が満了した役職
議決権のない取締役
バンク・フェデラティブ・デュ・クレディ・ミュチュエル

＜中略＞

上級経営陣

＜中略＞

アレクサンドル・サーダ
（Alexandre Saada）

＜中略＞

最高経営責任者兼執行役員 **就任：2017年** **任期満了：2023年**

＜中略＞

執行役員の報酬決定の指針

＜中略＞

１月１日から12月31日までにグループの主要経営陣に支払われた報酬

＜中略＞

2019

金額 ユーロ (a)	出身企業	固定部分	変動部分 (b)	現物給付 (c)	追加給付に対する企業拠出金	合計
ニコラ・テリ	クレディ・ミュチュエル	711,462 (1)		11,748	10,462	733,672
	CIC	104,167 (1)			505	104,672
ダニエル・バール	クレディ・ミュチュエル	808,961 (2)		3,881	9,447	822,289

＜後略＞

＜訂正後＞

取締役会の構成の概要

2021年６月１日現在

男性の人数	女性の人数	女性の比率
15名	２名	12%

2021年６月１日現在

取締役の氏名	役職名	ＢＦＣＭでの勤務開始日	現在の任期の就任日	現在の任期の満了日	所有株式の種類及びその数
ニコラ・テリ (Nicolas Théry)	取締役会会長	2014年11月14日	2017年5月3日	2023年5月30日	0
ジェラール・コルモレシュ (Gérard Cormorèche)	取締役	2001年5月16日	2019年5月10日	2022年5月30日	0
クロード・クルトワ (Claude Courtois)	取締役	2019年4月9日	2019年5月10日	2022年5月30日	0
フィリップ・ガイエンヌ (Philippe Gallienne)	取締役	2019年5月10日	2019年5月10日	2022年5月30日	0

シャルル・ゲルベル (Charles Gerber)	取締役	2020年5月6日	2020年5月6日	2023年5月30日	0
オリヴィエ・ギオ (Olivier Guiot)	取締役	2020年5月6日	2020年5月6日	2023年5月30日	0
エリオ・グム (Elio Gumbs)	取締役	2020年5月6日	2020年5月6日	2023年5月30日	0
ニコラ・アベール (Nicolas Habert)	取締役	2020年4月2日	2020年4月2日	2024年5月30日	0
アルベール・マイヤー (Albert Mayer)	取締役	2019年5月10日	2019年5月10日	2024年5月30日	0
ビッヒ・ファン・ンゴ (Bich Van Ngo)	取締役	2021年5月12日	2021年5月12日	2024年5月30日	0
ギスレーヌ・ラヴァネル (Gislhaine Ravanel)	取締役	2019年5月10日	2019年5月10日	2022年5月30日	0
ティエリー・ルブレ (Thierry Reboulet)	取締役	2021年5月12日	2021年5月12日	2024年5月30日	0
レネ・シュヴァルツ (René Schwartz)	取締役	2019年5月10日	2021年5月12日	2024年5月30日	0
フランシス・シングラー (Francis Singler)	取締役	2019年5月10日	2021年5月12日	2024年5月30日	0
アラン・テトゥドワ (Alain Têtedoie)	取締役	2006年10月27日	2021年5月12日	2024年5月30日	0
フィリップ・タフロー (Philippe Tuffreau)	取締役	2017年5月3日	2021年5月12日	2024年5月30日	0
CFCM・メーヌ・アンジュー・エ・バス・ノルマンディ(CFCM Maine Anjou et Basse Normandie) (常任代表:ジャン−マーク・ビュスネル(Jean-Marc Busnel))	取締役	2008年7月4日	2021年5月12日	2024年5月30日	0
執行役員					
ダニエル・バール (Daniel Baal)	最高経営責任者 兼 執行役員	2017年6月1日	2017年6月1日	2023年12月31日	0
アレクサンドル・サーダ (Alexandre Saada)	副最高執行責任者 兼 執行役員	2018年3月1日	2021年4月9日	現在の任期に期限はない。	0

議決権のない取締役

ミシェル・アンドルゼウスキー(Michel Andrzejewski)
ジャン・ルイ・バズィーユ(Jean Louis Bazille)
ジャン−クロード・ロルデロ(Jean-Claude Lordelot)
クリスチャン・ミュラー(Christian Muller)
ジャック・シモン(Jacques Simon)

＜中略＞

役員の役職及び機能

ニコラ・テリ
(Nicolas Théry)

55歳 1965年12月22日生まれ	**主な専門分野及び経歴の概要** ニコラ・テリ氏は、1989年に財務監督局でキャリアをスタートした後、1993年に財務総局に異動した。1997年から2000年にかけ経済財務省において金融及び財務、後に国際及び欧州に関するアドバイザーを務めた。2000年、予算担当大臣（フロランス・パルリ氏の民間事務所長）に就任した。2000年から2002年の間はCFDTの連邦長官を務め、経済問題を担当した。同氏は、従業員貯蓄制度の組合間委員会やニコル・ノタ氏が設立したヴィジオ格付機関の設立を支援した。2002年から2009年にかけて、通商担当のパスカル・ラミー氏の官房長として欧州委員会に勤務した後、企業総局に加わり、環境局長として気候変動に取り組んだ。2009年、銀行グループ内で様々なポジションを経験したのち、クレディ・ミュチュエルに入社した。2012年から2016年までCIC・エストの会長兼最高経営責任者を務めた。 2014年以降、同氏はCFCM、BFCM及びCICの会長を務めている。2016年以降は、コンフェデラシオン・ナシオナル・デュ・クレディ・ミュチュエル及びフェデラシオン・デュ・クレディ・ミュチュエル・サントル・エスト・ユーロップの会長を務めている。また、グループ・デ・ザシュランス・デュ・クレディ・ミュチュエルの監事会会長も務めている。 ニコラ・テリ氏は、パリ政治学院及びフランス国立行政学院（ENA）（「自由・平等・友愛」クラスの首席）の卒業生であり、ビジネス法を専門とする法律、経営学修士号を保有している。

取締役会会長 **ケス・フェデラル・ド・クレディ・ミュチュエルのグループリスク監視委員会メンバー** **就任：2014年** **任期満了：2023年**
2020年12月31日現在在任中のその他の役職
取締役会会長
コンフェデラシオン・ナシオナル・デュ・クレディ・ミュチュエル
ケス・サントラル・デュ・クレディ・ミュチュエル
フェデラシオン・デュ・クレディ・ミュチュエル・サントル・エスト・ユーロップ
ケス・フェデラル・ド・クレディ・ミュチュエル
クレディ・アンデュストリエル・エ・コメルシアル
バンク・CIC・エスト
バンク・CIC・ノール・ウエスト
アシュランス・デュ・クレディ・ミュチュエル・ヴィ・SA
アシュランス・デュ・クレディ・ミュチュエル・ヴィ・SAM
ACM・IARD・SA
監事会会長
グループ・デ・ザシュランス・デュ・クレディ・ミュチュエル
バンク・ユーロペエンヌ・デュ・クレディ・ミュチュエル
グループ・デ・ザシュランス・デュ・クレディ・ミュチュエルの常任代表及び取締役
ACM・GIE
フェデラシオン・デュ・クレディ・ミュチュエル・サントル・エスト・ユーロップの常任代表及び経営委員
ユーロ－アンフォルマシオン
取締役
ケス・ド・クレディ・ミュチュエル・ストラスブール・ヴォージュ
メンバー
ディフェンス・エシックス・コミッティー

過去５事業年度に任期が満了した役職
経営委員
ユーロ－アンフォルマシオン
最高経営責任者
バンク・CIC・エスト
執行委員会会長
グループ・デ・ザシュランス・デュ・クレディ・ミュチュエル
監事会監事
コフィディ
コフィディ・パルティシパシオン
最高経営責任者代理
ケス・フェデラル・ド・クレディ・ミュチュエル
バンク・フェデラティブ・デュ・クレディ・ミュチュエル
グループ・デ・ザシュランス・デュ・クレディ・ミュチュエル
取締役
タルゴバンク・スペイン
バンク・ピュブリック・ダンヴェスティスマン

BECMの常任代表及び取締役
フェデラシオン・デュ・クレディ・ミュチュエル・サントル・エスト・ユーロップ
GACMの常任代表及び取締役
ACM・IARD・SA

＜中略＞

ジャン－マーク・ビュスネル

（Jean-Marc Busnel）

＜中略＞

ケス・フェデラル・ド・クレディ・ミュチュエル・ド・メーヌ－アンジュー・エ・バス－ノルマンディの常任代表、 **取締役** **就任：2018年** **任期満了：2024年**

＜中略＞

クロード・クルトワ

（Claude Courtois）

＜中略＞

取締役 **就任：2019年** **任期満了：2022年**
2020年12月31日現在在任中のその他の役職

＜中略＞

シャルル・ゲルベル

(Charles Gerber)

67歳 1954年６月３日生まれ	**主な専門分野及び経歴の概要** シャルル・ゲルベル氏は、一般力学の職業適性証及びコミテ・ダクシオン・エコノミック・デュ・オーランから経営及び採用のディプロマを取得し、フランス軍の曹長としてキャリアをスタートさせた。その後、機械工学分野で10年間、製造現場マネージャーとして20年間、大量買付マネージャーとして10年間従事した後、2009年に定年退職した。 同氏は1991年、当初はクレディ・ミュチュエルの地元銀行の取締役会のメンバーに選任され、2012年に取締役会会長に選任された。

＜中略＞

エリオ・グム

(Elio Gumbs)

＜中略＞

取締役 **就任：2020年** **任期満了：2023年**

＜中略＞

ニコラ・アベール

(Nicolas Habert)

＜中略＞

取締役 **ケス・フェデラル・ド・クレディ・ミュチュエルのグループリスク監視委員会メンバー** **就任：2020年** **任期満了：2024年**

＜中略＞

アルベール・マイヤー

（Albert Mayer）

＜中略＞

取締役 **就任：2018年** **任期満了：2024年**
2020年12月31日現在在任中のその他の役職
取締役会会長
ケス・ド・クレディ・ミュチュエル・フレマン・オンブルゴ
サン・アヴォ地区の取締役及び会長
フェデラシオン・デュ・クレディ・ミュチュエル・サントル・エスト・ユーロップ
マネージング・パートナー
セコジェム・エクスペルティス・コンプタブル
ポール・デクスペルティス・コンプタブル

過去５事業年度に任期が満了した役職
会長
マイヤー・アルベール・エクスペルティス・エ・オーディット・コンプタ－ブル

ビッヒ・ファン・ンゴ
（Bich Van Ngo）

65歳 1956年７月21日生まれ	**主な専門分野及び経歴の概要** パリ・ドーフィン大学の経済学修士号並びにパリ政治学院の企業取締役学の修了証書を有する公認会計士、ビッヒ・ファン・ンゴ氏は、2018年からNGO・オーディット・エ・コンセイユの会長兼CEOを務めている。 1979年にキャリアを開始し、様々な団体で最高財務責任者を務めた後、会長兼最高経営責任者を務めた。1995年に会計監査法人であるオーディット・エ・コンセイユを設立し、2018年まで運営していた。 2013年、ケス・ド・クレディ・ミュチュエル・ド・ヴェリエール・ル・ビュイッソンの取締役会に選任され、2015年には会長に就任した。ンゴ氏は、2018年からフェデラシオン・デュ・クレディ・ミュチュエル・イル－ド－フランスの取締役、2020年からクレディ・ミュチュエル・アリアンス・フェデラルのグループ監査及び会計委員会メンバー、2021年からBFCMの取締役を務めている。

取締役
ケス・フェデラル・ド・クレディ・ミュチュエルのグループ監査及び会計委員会メンバー
就任：2021年
任期満了：2024年
2021年６月30日現在在任中のその他の役職
取締役会会長
クレディ・ミュチュエル・ド・ヴェリエール・ル・ビュイッソン
取締役
フェデラシオン・デュ・クレディ・ミュチュエル・イル－ド－フランス

過去５事業年度に任期が満了した役職
なし

ギスレーヌ・ラヴァネル
（Gislhaine Ravanel）

68歳 1952年９月30日生まれ	**主な専門分野及び経歴の概要** エコール・ピジエ・ド・ニースの卒業生であるギスレーヌ・ラヴァネル氏は、ウッシュ市の市長である。同氏はシャモニー役場を経て2013年に定年退職するまでコミュノテ・ド・コミューン・ペイ・デュ・モン－ブランにおいて業務にあたっていた。 同氏は2008年以降クレディ・ミュチュエルの地元銀行の会長及びアルヴ／ジュヌヴォワ地区の会長を、2017年以降はフェデラシオン・デュ・クレディ・ミュチュエル・サヴォワ－モン・ブランの取締役も務めている。

取締役
就任：2019年
任期満了：2022年
2020年12月31日現在在任中のその他の役職
取締役会会長
ケス・ド・クレディ・ミュチュエル・ド・シャモニー
取締役会のメンバー及びアルヴ／ジュヌヴォワ地区の会長
フェデラシオン・デュ・クレディ・ミュチュエル・サヴォワ－モン・ブラン
議決権のない取締役
ケス・フェデラル・ド・クレディ・ミュチュエル

過去５事業年度に任期が満了した役職
なし

ティエリー・ルブレ
（Thierry Reboulet）

59歳 1962年８月３日生まれ	**主な専門分野及び経歴の概要** 技術大学において経営学の学位を取得したティエリー・ルブレ氏は、タン・レルミタージュの役場において17年間（勤続36年）サービスのゼネラルマネージャーを務めた。 1998年、ルブレ氏はクレディ・ミュチュエルの地方銀行の会長に選任された。2001年以降、フェデラシオン・デュ・クレディ・ミュチュエル・ドフィネ－ヴィヴァレの取締役、2014年以降ケス・ド・クレディ・ミュチュエル・ド・タン・レルミタージュの会長を務める。

取締役 **就任：2021年** **任期満了：2024年**
2021年６月30日現在在任中のその他の役職
取締役会会長
ケス・ド・クレディ・ミュチュエル・タン・レルミタージュ
取締役
フェデラシオン・デュ・クレディ・ミュチュエル・ドフィネ－ヴィヴァレ
バンク・フェデラティブ・デュ・クレディ・ミュチュエル

過去５事業年度に任期が満了した役職
なし

レネ・シュヴァルツ
（René Schwartz）

＜中略＞

取締役 **ケス・フェデラル・ド・クレディ・ミュチュエルのグループ監査及び会計委員会アソシエイト・メンバー** **就任：2018年** **任期満了：2024年**

＜中略＞

フランシス・シングラー
（Francis Singler）

＜中略＞

取締役 **就任：2018年** **任期満了：2024年**

＜中略＞

アラン・テトゥドワ
（Alain Têtedoie）

57歳 1964年５月16日生まれ	**主な専門分野及び経歴の概要** 園芸学の学士であるアラン・テトゥドワ氏は農業分野の会長及びCEOである。1991年、同氏はクレディ・ミュチュエルの地元銀行の取締役に就任し、2006年以降はフェデラシオン及びケス・レジオナル・デュ・クレディ・ミュチュエル・ロワール－アトランティック・エ・サントル－ウエストの会長に、2004年以降は連盟の取締役にも就いている。

＜中略＞

取締役 **就任：2007年** **任期満了：2024年**

＜中略＞

フィリップ・タフロー
（Philippe Tuffreau）

66歳 1955年５月24日生まれ	**主な専門分野及び経歴の概要** フィリップ・タフロー氏は、私法学修士号、法学の高等教育専門免状（DESS）及び専門弁護士資格を有し、フェデラシオン及びケス・レジオナル・デュ・クレディ・ミュチュエル・ダンジューの会長を務めている。 1995年、タフロー氏は商法専門事務所のExaequoを設立した。同時期、タフロー氏は法曹界に従事していた。1998年、２年の任期でアンジェの弁護士会の会長に選任された。2003年、同氏はフランス全国弁護士会評議会のメンバーとなった。2006年から2008年の間は当該機関の副会長を務め、裁判所の定期連絡先となった。程なくして同氏は国家功労勲章の騎士と名誉勲章の騎士に昇格した。1995年から2017年、同氏はオラティオ法律事務所の副会長を務めた。 1991年、タフロー氏はクレディ・ミュチュエルの地方銀行の会長に就任し、その他の事業活動を理由に会長職を離任するまで様々な役職に就いた。2014年、クレディ・ミュチュエルの地方銀行の会長に就任し、2015年にはクレディ・ミュチュエル・ダンジューの取締役、2017年にはフェデラル取締役となった。2020年からはコンフェデラル取締役を務めている。

取締役 **就任：2021年** **任期満了：2024年**
2021年６月30日現在在任中のその他の役職
取締役会会長
フェデラシオン・デュ・クレディ・ミュチュエル・ダンジュー
ケス・レジオナル・デュ・クレディ・ミュチュエル・ダンジュー
監事会副会長
ケス・ド・クレディ・ミュチュエル・アンジェ・サン・ロー
取締役
コンフェデラシオン・ナシオナル・デュ・クレディ・ミュチュエル
ケス・サントラル・デュ・クレディ・ミュチュエル
ALTEC
GIEMAT
ミュルティフィナンシエール・ド・ランジュー
監事会監事
バンク・ユーロペエンヌ・デュ・クレディ・ミュチュエル
ケス・レジオナル・デュ・クレディ・ミュチュエル・ダンジューの常任代表、取締役
ACM・ヴィ・SAM

過去５事業年度に任期が満了した役職
なし

＜中略＞

上級経営陣

＜中略＞

アレクサンドル・サーダ
（Alexandre Saada）

＜中略＞

最高経営責任者兼執行役員 **就任：2018年** **任期満了：現在の任期に期限はない。**

＜中略＞

執行役員の報酬決定の指針

＜中略＞

１月１日から12月31日までにグループの主要経営陣に支払われた報酬

＜中略＞

2019

金額 ユーロ (a)	出身企業	固定部分	変動部分 (b)	現物給付 (c)	追加給付に対する企業拠出金	合計
ニコラ・テリ	クレディ・ミュチュエル	711,462 (1)	-	11,748	10,462	733,672
	CIC	104,167 (1)	-	-	505	104,672
ダニエル・バール	クレディ・ミュチュエル	808,961 (2)	-	3,881	9,447	822,289

＜後略＞

第６【経理の状況】

１【財務書類】

＜訂正前＞

BFCMグループ連結財務書類

＜中略＞

BFCMグループ連結財務書類に対する注記

＜中略＞

注記10 - 償却原価で測定する金融資産

＜中略＞

10c - 償却原価で測定する顧客への貸出金及び債権

	2020年12月31日	2019年12月31日
正常貸出金 [S1/S2]	**252,710**	**231,929**
商業貸出金	13,195	15,240
顧客へのその他の貸出金	239,114	216,275

＜中略＞

注記11 - 償却原価で測定する金融負債

11a - 償却原価で測定する負債証券

	2020年12月31日	2019年12月31日
譲渡性預金証書	49	42
銀行間証書及び譲渡性負債商品	58,223	56,396
債券	64,035	66,833
非優先上位債	4,379	1,044
関連債務	628	795
合計	**127,314**	**125,110**

＜中略＞

注記18 - 有形固定資産及び無形資産

＜中略＞

18b - 非流動資産

＜中略＞

注記20 - 引当金及び偶発債務

＜中略＞

20b - 退職給付及びその他の従業員給付

＜中略＞

確定給付制度：主要な数理計算上の仮定

	2020年12月31日	2019年12月31日
割引率(2)	0.45%	0.75%
予想昇給率(3)	最低0.5%	最低0.7%

(1) 年金基金積立不足に係る引当金は、グループの外国事業体に関連するものである。
(2) 民間借入金の長期金利を参照して決定される割引率は、IBOXX指数に基づいている。
(3) 年次昇給率は、給与の増加と将来のインフレの推定値を組み合わせた見積りに基づき、従業員の年齢によっても異なる。

＜中略＞

注記38 - 償却原価で認識される金融商品の公正価値ヒエラルキー

＜中略＞

	2020年12月31日						
	市場価値	帳簿価額	未実現損益	レベル1	レベル2	レベル3	合計
＜中略＞							
償却原価で測定する保険事業への投資	**12,396**	**11,560**	**836**	**7,514**	**4,882**	**0**	**12,396**
貸出金及び債権	7,514	6,678	836	7,514	0	0	7,514
満期保有目的	454,795	448,766	6,029	0	338,479	116,315	454,794

＜中略＞

BFCM財務書類
年次財務書類

＜中略＞

BFCM年次財務書類への注記

＜中略＞

2.14　有価証券ポートフォリオ：発行体別の債券及びその他の確定利付証券の内訳

	2020年12月31日現在の金額			2019年12月31日現在の金額		
	発行体			発行体		
	公的機関	その他	関連する債権	公的機関	その他	関連する債権
政府証券、債券及びその他の証券	11,594,024	14,291,829	128,763	10,117,480	18,130,896	134,288

＜中略＞

3.6　残存期間別の未決済先渡取引の内訳

	2020年12月31日現在の金額			2019年12月31日現在の金額		
	1年未満	1年から5年まで	5年超	1年未満	1年から5年まで	5年超
＜中略＞						
金利商品に関わる店頭取引						
確定取引	60,057,209	81,069,064	56,274,570	78,742,573	67,659,613	57,514,594
うちスワップ	*60,057,209*	*81,069,064*	*56,174,570*	*78,742,573*	*67,659,613*	*57,514,594*
うちフロアーの購入	-	-	*100,000*	-	-	*100,000*
うちフロアーの売却	-	-	-	-	-	-

＜中略＞

BFCMグループ連結財務書類

＜中略＞

BFCMグループ連結財務書類に対する注記

＜中略＞

注記10 - 償却原価で測定する金融資産

＜中略＞

10c - 償却原価で測定する顧客への貸出金及び債権

	2019年12月31日	2018年12月31日
正常貸出金 [S1/S2]	231,929	227,075
商業貸出金	15,240	15,323
顧客へのその他の貸出金	216,275	211,317

＜中略＞

注記11 - 償却原価で測定する金融負債

11a - 償却原価で測定する負債証券

	2019年12月31日	2018年12月31日
譲渡性預金証書	42	38
銀行間証書及び譲渡性負債商品	56,396	56,406
債券	66,833	62,544
非優先上位債	1,044	0
関連債務	795	767
合計	**125,110**	**119,755**

＜後略＞

＜訂正後＞

BFCMグループ連結財務書類

＜中略＞

BFCMグループ連結財務書類に対する注記

＜中略＞

注記10 - 償却原価で測定する金融資産

＜中略＞

10c - 償却原価で測定する顧客への貸出金及び債権

	2020年12月31日	2019年12月31日
正常貸出金 [S1/S2]	**252,710**	**231,929**
商業貸出金	13,195	15,240
顧客へのその他の債権	239,114	216,275

＜中略＞

注記11 - 償却原価で測定する金融負債

11a - 償却原価で測定する負債証券

	2020年12月31日	2019年12月31日
譲渡性預金証書	49	42
銀行間証書及び譲渡性負債商品	58,223	56,396
債券	64,035	66,833
非上位優先債	4,379	1,044
関連債務	628	795
合計	**127,314**	**125,110**

＜中略＞

注記18 - 有形固定資産及び無形資産

＜中略＞

18b - 無形資産

＜中略＞

注記20 - 引当金及び偶発債務

＜中略＞

20b - 退職給付及びその他の従業員給付

＜中略＞

確定給付制度：主要な数理計算上の仮定

	2020年12月31日	2019年12月31日
割引率(2)	0.45%	0.75%
予想昇給率(3)	最低0.5%	最低0.7%

(1) 年金基金積立不足に係る引当金は、グループの外国事業体に関連するものである。
(2) 民間借入金の長期金利を参照して決定される割引率は、IBOXX指数に基づいている。
(3) 年次昇給率は、給与の増加と将来のインフレの推定値を組み合わせた見積りであり、従業員の年齢によっても異なる。

＜中略＞

注記38 - 償却原価で認識される金融商品の公正価値ヒエラルキー

＜中略＞

	2020年12月31日						
	市場価値	帳簿価額	未実現損益	レベル1	レベル2	レベル3	合計
＜中略＞							
償却原価で測定する保険事業への投資	**12,396**	**11,560**	**836**	**7,514**	**4,882**	**0**	**12,396**
貸出金及び債権	4,882	4,882	0	0	4,882	0	4,882
満期保有目的	7,514	6,678	836	7,514	0	0	7,514

＜中略＞

BFCM財務書類
年次財務書類

＜中略＞

BFCM年次財務書類への注記

＜中略＞

2.14 有価証券ポートフォリオ：発行体別の債券及びその他の確定利付証券の内訳

	2020年12月31日現在の金額			2019年12月31日現在の金額		
	公的機関の発行体	その他	関連する債権	公的機関の発行体	その他	関連する債権
政府証券、債券及びその他の証券	11,594,024	14,291,829	128,763	10,117,480	18,130,896	134,288

＜中略＞

3.6 残存期間別の未決済先渡取引の内訳

	2020年12月31日現在の金額			2019年12月31日現在の金額		
	1年未満	1年から5年まで	5年超	1年未満	1年から5年まで	5年超
	＜中略＞					
金利商品に関わる店頭取引						
確定取引	60,057,209	81,069,064	56,274,570	78,742,573	67,659,613	57,514,594
うちスワップ	*60,057,209*	*81,069,064*	*56,174,570*	*78,742,573*	*67,659,613*	*57,414,594*
うちフロアーの購入	-	-	*100,000*	-	-	*100,000*
うちフロアーの売却	-	-	-	-	-	-

＜中略＞

BFCMグループ連結財務書類

＜中略＞

BFCMグループ連結財務書類に対する注記

＜中略＞

注記10 - 償却原価で測定する金融資産

＜中略＞

10c - 償却原価で測定する顧客への貸出金及び債権

	2019年12月31日	2018年12月31日
正常貸出金 [S1/S2]	231,929	227,075
商業貸出金	15,240	15,323
顧客へのその他の債権	216,275	211,317

＜中略＞

注記11 - 償却原価で測定する金融負債

11a - 償却原価で測定する負債証券

	2019年12月31日	2018年12月31日
譲渡性預金証書	42	38
銀行間証書及び譲渡性負債商品	56,396	56,406
債券	66,833	62,544
非上位優先債	1,044	0
関連債務	795	767
合計	**125,110**	**119,755**

＜後略＞